

平成27年度 事業報告書

平成28年 5月

社会福祉法人 大野城市社会福祉協議会

2015年（平成27年）度事業報告

主な事業活動として下記の取り組みを行うとともに別紙のとおり報告いたします。

★印は、第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画として位置づけられた事業

参照ページ

1. 地域福祉活動		
①★	社協の地域福祉活動計画と市の地域福祉計画を一体的に策定した「第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画～みんなで動こう 動けば変わる～」が実施段階に入った。それに伴い、進行管理機関である「大野城市やすらぎのまち市民協議会」が設置され進捗状況や事業の評価などが開始された。	P6
②	地域福祉推進委員会（福祉部会）、地域ケア会議、コミュニティ福祉部会への職員の会議出席総数は、379回となっている。近年、高齢化率が急激に高くなっている地域の課題や処遇困難ケースの増加、また集合住宅では見守りが難しい問題などが顕在化している。なお、地域福祉活動を担うボランティアの掘り起こしが地域の共通課題としてあげられる。	P8
③★	ふーちゃんゼミナールについては、メニューの充実を図ったことにより100名程の増になった。	P16
④	平成25年から取り組んでいるコミュニケーションマージャンについては、地域への貸し出し件数（延べ24地区）が前年に比較すると倍増しており、普及啓発の成果が表れている。	P18
⑤★	平成26年から実施している認知症行方不明者捜索訓練については、平成27年度より大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画に位置づけされた事業となった。平成27年度は、下筒井において開催され、半年の準備を経て、訓練当日は、下筒井区の関係者約100名並びに市役所関係部署や春日警察署、春日・大野城・那珂川消防本部の参加を得た。	P19
⑥	子育て支援については、お母さん方が自主運営する登録サークルが8サークルとなり、前年から3サークル増えるとともに各区の地域福祉推進委員会（福祉部会）が運営する子育てサロンは、20地区（平成26年度は19地区）となった。それに伴い、遊具の貸し出し件数も大幅に伸びた。	P24
2. 福祉教育		
①	学校における福祉教育については、前年同様に小学校からの依頼により福祉教育を進めてきた。福祉教育の推進にあたっては、障がいのある人、ボランティアサークル、そして地域の福祉委員、児童委員にも参加協力を得て福祉教育を推進した。	P27
②★	教職員を対象とした福祉教育基礎研修会については、日本福祉大学より講師を迎え、福祉教育の理解を進めるとともに県社協が発行する福祉教育教材「ともに生きる」の活用について報告を行った。	P29
③★	福祉教育推進校については、大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画に位置づけされた計画として、平成27年度は市教育委員会、市小中学校校長会との理解と協議のうえ、大野小学校を福祉教育推進校（平成28年度より2年間）として選定し、大野小学校、市福祉課、社協において平成28年度の福祉教育プログラムの素案の協議を行い、年間を通して大野小学校とともに福祉教育を推進する準備を行った。	P30
3. 共同募金運動		
	共同募金運動については、平成26年度において共同募金配分検討委員会により今後の配分の方針について答申を受け、それに基づき共同募金の実績額によって配分額を変更する方向性について、平成27年度は各配分団体の理解を得るため配分を受けている団体と協議を行った。なお、設立40周年を迎えた食生活改善推進会へ周年記念として共同募金特別配分を行い、その配分により炊き出しや地域行事で使える「100人分の料理レシピ集」が作成された。	P31
4. 生活福祉資金貸付事業		
	生活福祉資金については、相談件数は減少したものの、申込件数、決定件数が増加したことにより貸付総額は平成26年度から比較すると1千万円程増額となっている。要因としては、高校、大学等へ進学への経済的支援を必要とする世帯が依然として厳しい状況にある為、教育支援資金の申し込みが増えている。また、緊急で食料を必要とする世帯もあり、食料品の緊急募集などを行った。	P36

5. 東北の応援		
	福島県応援ツアーとして、社協が継続して応援している南相馬市の小高区(第1原発20キロ圏)を訪れるとともに宮城県、岩手県なども訪れた。 また、総合福祉センターロビーで福島の特産品販売も継続している。	P37
6. ボランティアセンター		
①★	ボランティアセンターを拠点に活動している登録団体は新たに4グループが加わり、28グループとなった。 地縁型ボランティアとテーマ型ボランティアの顔の見える関係と対話の場として「おおのじょうボランティアのつどい」を3月11日に開催し、東日本大震災が発生した14時46分に参加者全員で黙祷を行い、東日本大震災を忘れない想いを共有した。	P39
②★	大規模災害が発生したした場合、福祉避難所の開設や災害ボランティアセンターが開設されるが、それと同時に被災地域の復旧・復興にはボランティアの力が欠かせないことから災害ボランティアの養成講座を開催した。	P40
③★	ボランティアエントリーシステムの構築準備 気軽にボランティア活動へ参加できる仕組みとして「ボランティアエントリーシステム」の構築について、ボランティアセンター運営委員会などでその内容について協議を重ねながらホームページ(スマートフォン)で参加申し込み出来るシステムの構築を行った。	P41
7. 総合相談事業		
	心配ごと相談、ふくし何でも相談、電話法律相談の件数については、平成26年度とほぼ変わらないが、弁護士への相談については、財産の問題に続き、人権問題が二番目に多い相談(平成26年は離婚問題が二番目)となった。ふくし何でも相談においては、母子福祉、児童福祉に関する相談が増える傾向にある。なお、試行的な取り組みとして大野城市総合福祉まつりにおいても、弁護士による法律相談を実施した。	P45
8. 介護サービス事業		
	介護保険制度の改正により、サービスは減少しているが、介護職員の努力により収支は改善傾向にある。 また、介護保険制度改正による総合事業として提供される訪問型サービスAについては、市の試行的実施に協力しながら、その検証を行い、本会として市へ要望等を行った。 なお、市が実施予定としている体制整備事業や介護予防ボランティア事業についても市と協議を重ねたうえで更に継続協議となった。	P47
9. 権利擁護事業		
★	認知症や障がいのある人の金銭管理等をサポートする日常生活自立支援事業(実施主体:県社協)に従事する生活支援員については、地域福祉活動の経験を有する人を4名増員し、6人体制とした。権利擁護事業への理解を広げる為にも、今後も引き続き段階的に生活支援員の増員を図っていくこととしている。 また、法人後見については、先進地への視察研修等を行いながら、弁護士、司法書士の協力を得て、法人後見実施要綱並びに成年後見運営委員会設置要綱を作成し、法人後見の実施に向けて準備を整えた。	P51
10. 寄附等		
	全般的に寄附は減少傾向にあるが、一方では市内の企業より福祉車両の寄贈を受けるとともに商品の売り上げの一部を寄付する寄付つき商品の開発に取り組んだ。 今後、企業へは社会貢献のみならず様々な視点から提案し、コラボのしていくことが求められる。	P53

平成 2 7 年度職員体制（平成 2 8 年 3 月末時点）

事務局長	1 名	
総務企画課	7 名	（内、嘱託 3 名）
地域課	1 3 名	（内、嘱託 3 名、非常勤 6 名）
介護サービス課	4 2 名	（内、非常勤 3 0 名）
総数	6 3 名	

平成27年度 大野城市社会福祉協議会 主な行事・会議等報告書

月	日	曜	事業・行事	事務局会議等	備 考
4	6	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	7	火		広報委員会	専門委員会
	8	水		福祉委員会	
			※地域ケア会議・・・7地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・15地区	
5	7	木		広報委員会	専門委員会
	12	火		福祉委員予定者事前会議	
	13	水		26年度下半期監査	
	15	金		総務委員会	専門委員会
	18	月		正副会長会	
	25	月		理事会	
	26	火		評議員会	
			※地域ケア会議・・・10地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・14地区	
6	1	月		理事会・評議員会	
	4	木		正副会長会	
	8	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	10	水		福祉委員会	
	11	木		広報委員会	専門委員会
	13	土	社協職員研修(接遇)		
	14～15	日・月	東北応援の旅下見		
	17	水	第1回大野城市やすらぎのまち市民協議会		
	18	木		理事会	
	21	日	災害ボランティア養成講座(1日目)		
	23	火	共同募金配分決定交付式		
	28	日	災害ボランティア養成講座(2日目)		
			※地域ケア会議・・・13地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・17地区	
7	1	水		ボランティアセンター運営委員会	
	2	木		共同募金会大野城市支会理事会	
	3	金		理事会	
	4	土	下筒井区認知症サポーター養成講座		
	5	日	夏っ子クラブ・小中ふれあいの旅事前研修会		
	7～9	火～木	東北応援ツアー		
	11	土		評議員会	
	13	月		広報委員会	専門委員会
	24	金	夏っ子クラブ①(ハンディを持つ子どもたちの一時預かり事業)		
	25	土	下筒井区認知症を理解する講座		
	28	火	夏っ子クラブ②		
	31	金	夏っ子クラブ③		
			※地域ケア会議・・・10地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・14地区	

月	日	曜	事業・行事	事務局会議等	備 考
8	1	土		理事会	
	3	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	4	火	夏っ子クラブ④		
	5	水	福祉教育基礎研修会		
	6	木		広報委員会	専門委員会
	7	金	夏っ子クラブ⑤	共同募金会大野城市支会理事会	
	11	火	夏っ子クラブ⑥		
	18	火	夏っ子クラブ⑦		
	21	金	夏っ子クラブ⑧		
	22～23	土～日	小中ふれあいの旅2015		
	25	火	夏っ子クラブ⑨		
			※地域ケア会議・・・8地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・15地区	
9	4	金	共同募金啓発ポスター選考会		
	5	土	赤い羽根共同募金のつどい		
	6	日	下筒井区認知症行方不明者捜索訓練		
	9	水		広報委員会	専門委員会
	10	木		共同募金会大野城市支会理事会	
	13	日	夏っ子クラブ・小中ふれあいの旅報告会		
	14	月	重度障がい者リフレッシュ事業		
	25	金		ボランティアセンター運営委員会	
	26～27	土日	おおの山城大文字まつり		
			※地域ケア会議・・・9地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・18地区	
10	1	水	共同募金運動開始(12/31まで) 第2回大野城市やすらぎのまち市民協議会		
	2	木		理事会 広報委員会	専門委員会
	5	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	14	水		福祉委員会	
	18	日	翔んでふれあって2015		
	25	日	ふれあいの旅2015事前説明会		
	26	月	南地区企業募金推進会議		
			※地域ケア会議・・・12地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・12地区	
11	4	水	東地区企業募金推進会議		
	7～8	土日	ふれあいの旅2015		
	8	日	生涯学習フェスティバル まつり南風		
	9	月	中央地区企業募金推進会議		
	11	水	南地区番茶の会		
	12	木	北地区企業募金推進会議		
				広報委員会	専門委員会
	13	金	北地区番茶の会		
	14	土	中央地区番茶の会		
	16	月	東地区番茶の会		
	24	火		上半期監査	
	25	水		ボランティアセンター運営委員会	
	28	土	福祉まつりリハーサル・前日準備		
	29	日	大野城市総合福祉まつり		
			※地域ケア会議・・・10地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・13地区	

月	日	曜	事業・行事	事務局会議等	備考
12	2	水		広報委員会	専門委員会
	6	日	ふれあいの旅2015報告会		
	7	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	9	水		福祉委員会	
	12	土	職員研修(人権)		
	13	日	下筒井区認知症行方不明者捜索訓練反省会		
	18	金	災害時におけるボランティアセンターの設置及び福祉避難所の支援に関する協定書調印式		
	24	木	第3回大野城市やすらぎのまち市民協議会		
			※地域ケア会議・・・9地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・17地区	
1	14	木		広報委員会	専門委員会
	26	月	心配ごと相談事業懇談会		
			※地域ケア会議・・・10地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・15地区	
2	1	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
				正副会長会	
	3	水		ボランティアセンター運営委員会	
				広報委員会	専門委員会
	10	水		福祉委員会	
	18	木		福祉事業委員会	専門委員会
			※地域ケア会議・・・12地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・14地区	
3	4	金		総務委員会	専門委員会
	10	木		広報委員会	専門委員会
	11	金	おおのじょうボランティアのつどい 南地区復興の夕べ		
	13	日	南地区総合避難訓練 災害ボランティアセンター設置訓練		
	17	木	在宅介護者のつどい		
	18	金		正副会長会	
	22	火		ボランティアセンター運営委員会	
	23	水		共同募金会大野城市支会理事会	
	28	月	第4回大野城市やすらぎのまち市民協議会		
	29	火		理事会	
	30	水		評議員会	
			※地域ケア会議・・・11地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・14地区	

※ 毎月第2土曜日は介護サービス定例研修

平成27年度 事業報告書

目 次



「平成27年度事業報告（概要）」

I. 法 人	
1. 理事会・評議員会等	1
2. 専門委員会	4
3. 情報公開	5
II. 事業・活動	
4. 地域福祉推進事業	6
5. 広報関係	20
6. 法外援護対策事業	20
7. 身体障がい者福祉対策事業	21
8. 知的障がい児者福祉対策事業	22
9. 高齢者福祉対策事業	23
10. 子育て支援事業	24
11. 児童青少年福祉対策事業	27
12. 福祉教育	27
13. 父母子福祉対策事業	30
14. 在宅介護者支援事業	30
15. 平成27年度共同募金運動	31
16. 福祉機器貸出事業	33
17. 福祉機器リサイクル事業	33
18. 移送サービス事業	34
19. ハンディキャブ貸出事業	34
20. 福祉食事サービス	35
21. 福祉バス運行事業	35
22. 生活福祉資金貸付事業	36
23. 被災地支援活動	37
III. ボランティアセンター事業	
24. ボランティア活動推進	38
25. 声の広報	44
IV. 総合相談事業	
26. 総合相談事業	45
V. 介護サービス事業	
27. 介護サービス事業	47
VI. 総合福祉センター	
28. 総合福祉センター	49
VII. 権利擁護事業	
29. 日常生活自立支援事業	51
30. 法人後見事業について	52
VIII. 寄附採納事業	
31. 寄附採納事業	53
IX. その他の事業	
32. 第16回大野城市総合福祉まつり	54
33. 社会福祉援助技術現場実習受け入れ	54
34. 職員の資格（取得）状況	55
35. 職員内部研修	56
【資 料】	
別表1. 社協会員推進状況	57
別表2. 介護サービス状況	58
別表3. ほっとサポート状況	61
別表4. 介護サービス研修会開催状況	63
別表5. 福祉食事サービス利用状況	64
別表6. 職員研修参加等実績	65

I . 法 人

理事会・評議員会等	 1
専門委員会	 4
情報公開	 5

1. 理事会・評議員会等

任期は、平成27年6月1日から平成29年5月31日まで。

1 理事会開催状況（理事総数 13名）

開催年月日			議 題		出席者
平成 27 年	5月25日	第1回	第1号議案	平成26年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事業報告書について	11名
			第2号議案	平成26年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会福祉事業会計決算書及び監査報告について	
			第3号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会役員等の識見を有する者の推薦について	
			第4号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会評議員の選任について	
	6月 1日	第2回	第5号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会会長の選任について	13名
			第6号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会副会長の選任について	
			第7号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会役員(会長等)に事故あるとき、又は欠けたときの職務代理者の指名について	
			第8号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会常務理事の指名について	
			第9号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会専門委員会委員の推薦(構成案)について	
			第10号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会の役員改選にともなう福岡県共同募金会大野城市支会理事の推薦について	
	6月18日	第3回	第11号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会会長の選任について	13名
	7月 3日	第4回	第12号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会の識見を有する理事の推薦について	13名
	8月 1日	第5回	第13号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会会長の選任について	12名
			第14号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会評議員の選任(同意)について	
	10月 2日	第6回	第15号議案	顕彰の実施について	11名

平成 28 年	3月29日	第7回	第16号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事務局 職員の給与規程の一部改正(案)について	12名
			第17号議案	平成28年度社会福祉法人大野城市社会福祉協 議会事業計画書(案)について	
			第18号議案	大野城市介護予防・日常生活支援総合事業にお ける訪問型サービス運営規程(案)の制定につい て	
			第19号議案	平成28年度社会福祉法人大野城市社会福祉協 議会資金収支当初予算(案)について	

正副会長会の開催 …… 打合せ会議を4回開催
理事会・評議員会の議案の事前審議

2 監事会の開催状況

開催年月日		監 査 内 容	出席者
平成 27 年	5月13日	平成26年度の会計決算監査	2名
	11月24日	平成26年度の会計中間監査	2名

3 評議員会開催状況（評議員総数 31名）

開催年月日			議 題		出席者
平成 27 年	5月26日	第1回	第1号議案	平成26年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事業報告書について	25名
			第2号議案	平成26年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会福祉事業会計決算書及び監査報告について	
			第3号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会理事ならびに監事の選任について	
	6月 1日	第2回	・委嘱状交付 ・大野城市社会福祉協議会の組織について		24名
	7月11日	第3回	第4号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会理事の選任について	22名
平成 28 年	3月30日	第4回	第5号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事務局職員の給与規程の一部改正(案)について	24名
			第6号議案	平成28年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事業計画書(案)について	
			第7号議案	大野城市介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型サービス運営規程(案)の制定について	
			第8号議案	平成28年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会資金収支当初予算(案)について	

2. 専門委員会

1 専門委員会開催状況

委員会名	開催年月日	議 題
総務委員会	平成27年 5月15日	理事会、評議員会の報告事項と議案について ・平成26年度予算の補正等について(報告事項) ・平成26年度事業報告書について(議案) ・平成26年度決算について(議案) ・理事、評議員、監事の改選に伴う各団体からの推薦状況について(議案)
	平成28年 3月4日	理事会、評議員会の報告事項と議案について ・平成27年度補正予算(報告事項) ・マイナンバー要綱制定(報告事項) ・法人後見実施要綱(案)ならびに成年後見運営委員会設置要綱(案)について(報告事項) ・社会福祉協議会職員給与規程改正について(議案) ・大野城市介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型サービス運営規程について(議案) ・平成28年度事業計画について(議案) ・平成28年度予算について(議案)
広報委員会	平成27年 4月 7日 平成27年 5月 7日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(151号) 2015. 6.1号
	平成27年 6月11日 平成27年 7月13日	委嘱状交付、広報委員会について 社協だより(ふくしんぼ)の編集(152号) 2015. 8.1号
	平成27年 8月 6日 平成27年 9月 9日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(153号) 2015.10.1号
	平成27年10月 2日 平成27年11月12日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(154号) 2015.12.1号
	平成27年12月 2日 平成28年 1月14日	赤い羽根ましがいい探し抽選 社協だより(ふくしんぼ)の編集(155号) 2016.2.1号
	平成28年 2月 3日 平成28年 3月10日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(156号) 2016.4.1号
福祉事業委員会	平成28年 2月18日	・正副委員長の選任について ・平成28年度大野城市社会福祉協議会事業計画書(案)について

3. 情報公開

平成13年より情報公開に取り組み、市民の福祉活動への理解と信頼及び積極的な参加を促進することを目的として行っています。

1 状 況

◇ 情報公開請求人 0名

情報公開請求件数:0件

処理状況:情報公開決定通知:0件

2 情報公開請求 0回

Ⅱ．事業・活動

地域福祉推進事業	6
広報関係	20
法外援護対策事業	20
身体障がい者福祉対策事業	21
知的障がい児者福祉対策事業	22
高齢者福祉対策事業	23
子育て支援事業	24
児童青少年福祉対策事業	27
福祉教育	27
父母子福祉対策事業	30
在宅介護者支援事業	30
平成 27 年度共同募金運動	31
福祉機器貸出事業	33
福祉機器リサイクル事業	33
移送サービス事業	34
ハンディキャプ貸出事業	34
福祉食事サービス	35
福祉バス運行事業	35
生活福祉資金貸付事業	36
被災地支援活動	37

4. 地域福祉推進事業

大野城市の平均高齢化率は約20％であるが、区の高齢化率をみると高齢化率が低い区が13％台、高い区が40％台で、30％台が徐々に増えていく傾向にあり、地域的な差が年々目立ってきている。また、年金だけでは生活できない高齢者の方々が増える傾向にあり、市全体をとおして経済的な格差が拡大している感がある。地域課題も処遇困難ケースの増加により地域福祉関係者の長期的な関わりが必要となっている。

平成27年度実績

① 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画～みんなで動こう 動けば変わる～

市と社協が一体的に取り組み、平成27年3月末に本計画が完成した。

この計画では、基本理念を、『多彩な人材が地域で活躍～豊かな経験が地域で役立つボランティア活動～』とし、14の方策が掲げられ平成27年度より実施段階に入った。

また、こうした事業の進捗状況や達成状況を把握し、今後の計画方針や事後の評価、見直しの過程などを明らかにするため、進行管理機関である「大野城市やすらぎのまち市民協議会」が設置された。

◇大野城市やすらぎのまち市民協議会

開催年月日			議 題	出席者
平成27年	6月17日	第1回	・大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画内容説明 ・今後のスケジュール	11名
	10月 1日	第2回	・計画管理・評価シートについて ・実施済み事業説明 ・実施予定事業内容説明	10名
	12月24日	第3回	・実施済み事業説明 ・実施予定事業内容説明	9名
平成28年	3月28日	第4回	・完了した事業の評価等について ・変更した事業について ・全事業の進捗状況について	9名

2 福祉委員会活動事業(第17期)

各区に1名の福祉委員を委嘱し、偶数月に定例会議を実施。

◇定例会の開催

期 日	内 容
平成27年 4月 8日(水)	福祉委員会情報交換会及び懇談会
平成27年 6月10日(水)	福祉委員の役割について 地域包括支援センターの役割等について 委嘱状交付
平成27年 8月 5日(水)	福祉教育基礎研修会
平成27年10月14日(水)	災害時避難行動要支援者名簿作成について 日常生活自立支援事業について
平成27年12月 9日(水)	グループ協議 【高齢者ミニデイやサロン・福祉推進委員の誘い方について】
平成28年 2月10日(水)	地域包括ケアシステムについて 新しい総合事業について

◇福祉委員会正副会長会の開催 1回開催

3 社会福祉協議会会員推進

◇会員推進状況

	一 般 会 員	賛 助 会 員	特 別 会 員	合 計
件 数	14,500 件	86 件	90 件	14,676 件
口 数	20,749 口	89 口	123 口	20,961 口
金 額	10,422,482 円	178,000 円	615,000 円	11,215,482 円

※会員推進状況の詳細については、巻末資料「別表1 平成27年度社協会員推進状況」P57参照

4 福祉育成援助活動

27区の行政区に地域福祉活動助成金として社協会員会費及び共同募金配分金を交付。

5 地域ケア会議

目 的 : 高齢者の状況を中心に市（地域包括支援センター）、地域、民生委員、福祉委員、在宅介護支援センター、社会福祉協議会がさまざまな情報を共有し、地域での見守り活動や支援活動を推進することを目的に開催され、社協より地区担当者等が必ず出席している。

地域ケア会議参加状況（開催回数 121回）

地区	地域名	開催回数	現状と課題
南地区	牛頸区	7 回	民生委員より日頃の見守り活動からの報告があがっている。継続ケースが多い。
	若草区	6 回	気になるケースについては、民生委員が訪問し在介や包括に繋げているケースがある。
	平野台区	3 回	それぞれの状況報告以外に、区長や民生委員から地域課題になるような事例報告も挙げられている。（例）家族葬の増加、災害弱者の把握方法など
	月の浦区	4 回	65歳以下の方のケースなど様々な課題の報告があがることもあり、かなり踏み込んだ状況まで知ることができる。区長他役員も共有が日頃からできている。
	南ヶ丘1区	6 回	高齢者が最も多い区でもあり、会議の冒頭では2ヶ月の間に逝去された方の報告がある。また、身障協と主任児童委員の出席もあり、障がい者や児童の報告もある。
	南ヶ丘2区	12 回	毎月開催しており、逝去された方の報告や、入院・入所した人の確認、空き家になったケースなどの報告が多い。
	つつじヶ丘区	5 回	今年度に入り、行方不明者や火災に遭われたケースがあり、その対応や今後の対策も協議された。民生委員が日頃からきめ細かな見守りをされている。
中央地区	上大利区	5 回	人口・世帯数が多く、見守りが必要な方も多いと思われる。また、児童の問題等のケースも幅広く話し合われている。
	下大利区	3 回	交通の便が良く、集合住宅も多い地域性から困難ケースが多いため、地域・民間サービス・公的機関の連携の必要性がますます高まっている。
	東大利区	4 回	高齢者に対する情報共有や処遇についての検討が中心であるが、同居の家族や65歳未満の方に関する支援なども課題として上がってきている。
	下大利団地区	6 回	高齢化率が伸び続け細やかな見守り活動・支援報告が共有されているが、外からの見守りが難しい集合住宅なので、推進委員等からの情報提供や、訪問して顔が見える関係を築いていくことがとても重要な地域である。
	白木原区	6 回	オートロックのある集合住宅など見守り自体が難しい中、管理人等とも連携しながら見守り・支援をされた状況が話し合われている。
	瓦田区	6 回	一つ一つのケースが継続する困難事例が多く、地域と介護・福祉サービス職員による継続した見守り活動が続いている。

東地区	釜蓋区	1 回	見守り対象の高齢者一人ひとりに担当の福祉部員を決め、訪問等を行われている。
	井の口区	8 回	事前に区が作成した 150 名の見守り対象者名簿に沿って毎月状況報告が行われている。要介護者見守りお助けコール運動にも取り組まれている。
	中区	6 回	ケア会議は奇数月開催だが、偶数月にも対象者の見守り状況報告や検討が行われている。
	乙金区	1 回	解決が難しいケースが増えてきており、今後ケア会議を定例的に開催する方向で検討されている。
	乙金台区	3 回	3ヶ月毎にケア会議が開催されている。民生委員を中心に細かな見守り活動がされている。
	乙金東区	1 回	現在は年1回の開催となっているが、必要に応じてケア会議を招集することのこと。
	大池区	3 回	6月・10月・2月にケア会議が開催されている。高齢化率が30%に達した。
北地区	上筒井区	6 回	民生委員がこまめに見守り訪問され、対象者の状況把握ができています。
	下筒井区	4 回	日頃の見守りに加え、お見舞い訪問や搜索訓練など様々な方法で見守りと啓発が行われている。
	山田区	-	活発な活動が展開される中、見守りが必要な方の情報が集まっており、地域福祉推進委員会がケア会議の役割を果たしていたが、今後ケア会議開催を予定している。
	雑餉隈町区	3 回	見守り対象者が多く、会議の場でたくさんの報告事項がある。
	栄町区	6 回	継続的に見守る必要がある人が多い。区長を中心とした情報共有がなされている。
	仲島区	3 回	日頃の見守り状況が報告されるとともに、情報収集について協議がなされている。加えて情報収集の方法も話し合いがされている。
	畑詰区	3 回	民生委員・福祉委員のほか、推進委員からも見守り報告が多い。推進委員会全体で見守りが行われている。

6 各区の地域福祉推進委員会の開催状況

各地域で定例的に開催される地域福祉推進委員会(福祉部会)の会議には社協職員も参加し、コミュニティワーカーとして各地域の福祉活動を支援している。

地区担当(南:馬場 中央:高原 東:栗津 北:山内) (開催回数 224回)

地区	地域福祉推進委員会(福祉部会)	開催回数	現状と課題
南地区	牛頸区地域福祉推進委員会	6 回	毎年最初の定例会では社会福祉協議会の概要説明や地域福祉活動の進め方について説明している。ふーちゃんゼミナールやコミュニケーションマーチャンも積極的に取り入れている。
	若草区地域福祉推進委員会	6 回	区やコミュニティなど推進委員会以外の行事にも多く関わっており、その内容や役割分担などを協議している。
	平野台区福祉部会	12 回	会議の前半は区や社協からの連絡事項を伝え、民生委員から気になるケースの報告がある。後半は、福祉部員で1か月間の行事の確認と内容や役割分担を協議している。
	月の浦区地域福祉推進委員会	5 回	推進委員が27名いて、数多くの行事を複数の推進委員が担当しており、できるだけ全員が関わる工夫をしている。
	南ヶ丘1区福祉部	6 回	ふーちゃんゼミナールやコミュニケーションマーチャンを活用して、ミニデイの内容の工夫や新任委員の研修等に取り組んでいる。
	南ヶ丘2区地域福祉推進委員会	12 回	毎月の地域ケア会議と同時開催で、推進委員全員での情報共有がその都度行われている。
	つつじヶ丘区福祉推進部	10 回	午前中にミニデイがあり、終了後に福祉推進部を開催。翌月のミニデイや福祉推進部の研修会、バスハイクの内容検討が中心。

地区	地域福祉推進委員会(福祉部会)	開催回数	現状と課題
中央地区	上大利区地域福祉推進委員会	5 回	子育てサロンも活動に追加され、推進委員活動が活発化している。また、上大利区では27年度から隣組長を対象にした認知症についての勉強会を実施している。
	下大利区愛のネットワーク推進委員会	12 回	定期的な清掃や、区内の福祉施設との交流を継続しながら推進委員会で話し合いが持たれている。推進委員会メンバーが発行する広報誌も福祉啓発の一つとなっている。
	東大利区地域福祉推進委員会	5 回	日中仕事をされている推進委員も多く、それぞれの経験や人脈が区活動や福祉活動に反映されている。ミニデイは参加者も地域課題を話し合う時間が設けられている。
	下大利団地区地域福祉推進委員会	12 回	地域ニーズを反映させたミニデイや情報を共有する推進委員会が行われ、きめ細かい見守り活動も展開されている。
	白木原区地域福祉推進委員会「こだまの会」	6 回	ミニデイや季節の行事の話し合いに会のメンバーが積極的に意見を出しながら身体障害を持つ方との合同外出活動等、様々な福祉活動を展開されている。
	瓦田区地域福祉推進委員会	12 回	高齢者対象のミニデイや子育てサロン活動では、内容等について委員より活発に意見を出し合いながら継続して行っている。
東地区	釜蓋区福祉部	12 回	上半期は足元気教室を中心に毎月ミニデイ及び福祉部会が開催されている。まどか園へのボランティア活動なども行っている。
	井の口区福祉部会	-	福祉部会としての開催はないが、毎月ミニデイが開催されて、終了後に次の行事確認等が行われている。
	中区福祉部	12 回	福祉部会と見守り対象者の情報共有を行う会議(みまもろう会)が交互に行われ、福祉活動が活発に行われている。
	乙金区福祉部	10 回	一人暮らし高齢者と乙金保育園児との合同行事など異世代交流が年間を通して行われている。
	乙金台区福祉部	12 回	足元気教室を中心に参加者が30名近くおり、男性の参加も多いのが特徴である。
	乙金東区福祉部	7 回	福祉部会は夜に開催されている。福祉部員もブロック長や子ども会、食改善からも選出されている。
	大池区福祉部	10 回	手作りサロンが活発に行われ、午前中に出席講座、午後は地域オリジナルのプログラムが企画されている。

地区	地域福祉推進委員会(福祉部会)	開催回数	現状と課題
北地区	上筒井区福祉部会	11回	正副部長(福祉委員・民生委員)の進行で、子ども会や食改善からも部会に参加されている。
	下筒井区地域福祉推進委員会	7回	ミニデイに男性参加者を増やすための工夫をされるなど課題意識が高い。
	山田区地域福祉推進委員会	5回	大野北小学校との給食交流会やコミュニケーションマージャンなど高齢者が参加する行事が行われている。子育てサロンも立ち上がった。
	雑餉隈町区地域福祉推進委員会	3回	福祉委員と民生委員が連携して、高齢者サロンや子育てサロンを行っている。部会としての開催ではないが活動前後に今後の行事や活動確認が行われている。
	栄町区地域福祉推進委員会	6回	会長(民生委員)と区長が連携しながら会議を進めている。高齢者サロン、子育てサロンも毎月開催している。
	仲島区地域福祉推進委員会	10回	昨年から子育てサロンが開催され、推進委員会では少人数ながら月に3回前後の事業を行っている。
	畑詰区地域福祉推進委員会	10回	定例会の時間は、参加者の事情に応じて不定期開催である。推進委員それぞれに見守る人が決められて、その都度報告があがっている。

7 ミニデイよりあい活動

◇ 各区におけるミニデイ活動状況

地 区	名称等	開催日	参加者数 (1日平均)
牛頸	牛頸あいあい会	3班で各々年4回 10:00～14:00	25
若草	若草あいあい会	3班で各々年3回 10:00～14:00	22
平野台	花水木の会	第1水曜日 10:30～14:00	37
月の浦	菜の花会	第1・第2金曜日 10:00～13:00	13
南ヶ丘1	友遊クラブ	第2水曜日 10:00～13:30	16
南ヶ丘2	ひまわり会 ミニデイ	第2木曜日 10:30～13:30	15
		第3木曜日 10:30～13:30	20
つつじヶ丘	ふれあい会	第2金曜日 10:00～12:00	33
上大利	音楽サロン等	第2金曜日 10:00～12:00	20
下大利	ミニデイ	年4回 10:00～13:00	50
東大利	ミニデイ	第4火曜日 10:00～13:00	9
下大利団地	ミニデイ	第4火曜日 10:00～12:00	25
白木原	ミニデイ	第4月曜日 13:30～15:00	20
瓦田	ミニデイ	年5回 10:00～13:00	35
釜蓋	ミニデイ	第4金曜日 10:00～13:00	25
井の口	月陽会	第1月曜日 10:00～14:00	25
中	かたろう会	第3月曜日 10:00～13:00	35
乙金	かごめかごめの会 等	年13回 10:00～12:00	35
乙金東	しのめ会 等	年12回 10:00～14:00	26
乙金台	花草会	年13回 10:00～12:30	32
大池	こすもすサロン	第3月曜日 10:30～14:00	10
上筒井	音楽サロン、 あじさいサロン	年6回	35
		年2回 10:00～15:00	
下筒井	ミニデイ ひまわりサロン	第4水曜日 10:00～12:00	18
		第2・4火曜日 13:20～15:40	10
山田	ふれあいマージャン	第4金曜日等	28
雑餉隈町	ミニデイ	年4回 10:00～12:00	18
栄町	ミニデイ	年4回 10:00～12:30	32
仲島	ミニデイ 茶話会	年2回 10:00～13:30	17
		年7回 10:00～12:00	10
畑詰	ミニデイ	年3回 10:00～13:00	14

各地域で行われるミニデイは、各地域福祉推進委員会の活動の一環として実施されている。
また、各地域の食生活改善推進会と連携しながら食生活に留意した会食会やお弁当の宅配なども行われている。

8 各地区コミュニティ福祉部会の開催状況

各コミュニティで定例的に開催される福祉部会の会議には社協職員も参加し、コミュニティワーカーとして各コミュニティの地域福祉活動を支援している。

地区担当(南:馬場 中央:高原 東:栗津 北:山内)

(開催回数 34回)

各地区福祉部会	定例会開催回数	現状と課題
南コミュニティ福祉部会	12 回	番茶の会の他にコミュニティ福祉部会が企画・参加する事業が年に7回開催され、その準備等でコミュニティ福祉部会がほぼ毎月開かれている。今年はほとんどの部員が新任のため、会議の中でも新鮮な意見が飛び交っている。
中央コミュニティ福祉部会	7 回	福祉推進委員の集いや、番茶の会などの事業を実施しているが、番茶の会については、これまでの会場では狭くなってきていることを踏まえ、増加する参加者への対応として会場を変えることを検討している。
東コミュニティ福祉部会	9 回	東コミュニティ福祉部会は輪番制で毎年担当地区が変わり、各区より民生委員と福祉委員、推進委員の3名が参加している。担当地区(27年度は大池区)は区長も参加し、福祉部会活動を展開している。
北コミュニティ福祉部会	6 回	各区より民生委員と福祉委員が1名ずつ参加している。進行は部会長だが、コミュニティ運営委員会が事務局を兼ねており、事務局長が統括している。事業によっては、NPO共働のまちや行政センターからの出席がある。

9 コミュニティ福祉部会の活動支援

◇各地区のコミュニティ福祉部会の活動状況

	期 日	部 会 名	人数	内 容
平成 27 年	6月22日(月)	南地区コミュニティ福祉部会	61	福祉レクリエーション講習会
	7月8日(水)	北地区コミュニティ福祉部会	78	北地区福祉推進委員合同研修会 北地区福祉レクリエーション講座
	7月10日(金)	中央地区コミュニティ福祉部会	93	第7回福祉推進委員のつどい 講話「孤立死をなくそう」
	7月13日(月)	東地区コミュニティ福祉部会	40	大野城市出前講座「季節の健康管理」
	8月26日(水)	南地区コミュニティ福祉部会	105	第16回福祉推進委員交流のつどい
	9月14日(月)	東地区コミュニティ福祉部会	22	視察研修(はまゆうワークセンター宗像)
	9月25日(金)	南地区コミュニティ福祉部会	14	視察研修(ワークサポート「白鳥の家」)
	11月8日(日)	南地区コミュニティ福祉部会	—	まつり南風
平成 28 年	1月21日(火)～ 3月22日(火)	南地区コミュニティ福祉部会	151	いきいきボランティア入門講座(計5回)
	2月8日(月)	東地区コミュニティ福祉部会	42	福祉推進委員交流のつどい 「マイナンバー制度」
	2月20日(土)	南地区コミュニティ福祉部会	113	子育て支援講演会「お話し会」
	3月9日(水)	北地区コミュニティ福祉部会	25	視察研修(有限会社在宅介護お世話宅急便 佐賀県唐津市)

◇第33回番茶の会(ひとり暮らし高齢者等のつどい)

各コミュニティ運営委員会(福祉部会)主催、社会福祉協議会共催で実施された。

地 区	期 日	会 場	参加者(対象者数)
南地区	平成27年11月11日(水)	南コミュニティセンター	164名
北地区	平成27年11月13日(金)	ロイヤルチェスター	127名
中央地区	平成27年11月14日(土)	中央コミュニティセンター	188名
東地区	平成27年11月16日(月)	東コミュニティセンター	86名

◇コミュニティ福祉部会の活動推進費の交付

◇コミュニティ福祉部会連絡協議会役員との定例会 6回開催(偶数月)

◇共同募金配分金をとおして各コミュニティの福祉活動に助成

10 ふーちゃんゼミナール 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

市全域に、「向こう三軒両隣」を広げる啓発事業として、地域へ講座メニューを提示しながら地域ニーズに応じた地域主体の学びの場としてコーディネートを行いました。筑紫地区人権擁護委員会や筑紫地区薬剤師会等の協力を頂きながら、プログラムのさらなる充実を図った。

◇ ふーちゃんゼミナール開催状況

開催日	内容	受講団体名	参加者数	担当職員 並びに協力団体
平成27年 4月6日(月)	もし近くに認知症の方がいたら 物忘れが出てきても自分らしい生活 をするために	大野城市陶芸会	100名	井上・馬場
6月25日(木)	市民活動推進計画 「みんなで動こう動けば変わる」	牛頸区地域福祉推進委員会	28名	馬場
6月27日(土)	ボランティアセンター事業について	大野城市身体障害者福祉協会	50名	高原
7月8日(水)	もし近くに認知症の方がいたら	北地区コミュニティ運営委員会	90名	井上
7月9日(木)	高齢者を狙う振り込め詐欺への対策	南ヶ丘2区福祉部	25名	人権擁護委員
8月19日(水)	物忘れが出てきても自分らしい生活 をするために	大野城市民生委員・児童委員 連合協議会生活福祉部	32名	医師
8月28日(金)	薬の正しい飲み方	牛頸区地域福祉推進委員会	60名	筑紫薬剤師会
9月10日(木)	薬の正しい飲み方	南ヶ丘2区福祉部	25名	筑紫薬剤師会
10月27日(火)	薬の正しい飲み方	下大利団地区 地域福祉推進委員会	45名	筑紫薬剤師会
11月6日(金)	地域福祉活動とは？	雑餉隈町 地域福祉推進委員会	25名	山内
11月18日(水)	介護保険を使うことになったら？	東地区民児協	19名	井上
平成28年 2月13日(土)	もし近くに認知症の方がいたら	中区見守ろう会	60名	井上
2月22日(月)	介護保険を使うことになったら？	牛頸区	70名	井上

参加人数延べ 629名

11 民生委員児童委員連合協議会活動への助成

◇ 民生委員児童委員連合協議会は、民生委員法及び児童福祉法に基づき要援護者の見守り等、各区の福祉委員とともに地域福祉のキーパーソンとして活動がなされている。

12 南地区総合避難訓練

大野城市南地区コミュニティを対象に、震度6強の地震が発生した想定で総合避難訓練が開催された。社会福祉協議会は市災害対策本部の要請により事務局職員及び介護職員を南コミュニティセンターに派遣し、福祉避難所で要支援者等への情報聞き取りなどを行った。また、今年度より災害ボランティアセンター設置訓練と併せて、災害ボランティアの受付や福祉避難所でのマッチング等を行った。

開催日：平成28年3月13日(日)

場 所：南コミュニティセンター

参加者：約2,040名

職 員：5名

役 割：①災害ボランティアセンターから派遣されたボランティアの受付、マッチングなど
②福祉避難所内で避難者(要支援者)への情報聞き取りなど

13 南地区復興のタベ

市の総合避難訓練の後に同じ地区で、東日本大震災で犠牲となった方々のご冥福と1日も早い被災地の復興を祈念する「復興のタベ」が5年前から開催されており、今年度は地元南ヶ丘在住のソプラノ歌手の方を中心にした復興支援ふれあいコンサートが行われた。

開催日：平成28年3月11日(金)18時～

場 所：南コミュニティセンター多目的室

参加者：約230名

職 員：2名

主 催：大野城市・南地区コミュニティ協議会・大野城市社会福祉協議会

Ⅱ－事業・活動

14 平成27年度コミュニケーションマージャン貸出状況

貸出地区・団体	貸出期間
乙金区福祉部	4月24日～4月27日
つつじヶ丘区福祉推進部	5月7日～5月8日
乙金区福祉部	5月29日～6月1日
乙金区	6月1日～6月3日
男女平等推進センター	6月10日～6月11日
男女平等推進センター	6月23日～6月24日
乙金台区	6月26日～6月29日
平野台福祉部	8月4日～8月5日
男女平等推進センター	9月18日～9月24日
牛頸区地域福祉推進委員会	10月1日～10月2日
男女平等推進センター	10月13日
乙金東区福祉部	10月15日～10月16日
牛頸区地域福祉推進委員会	10月21日～10月23日
若草区地域福祉推進委員会	10月28日～10月29日
山田区地域福祉推進委員会	11月26日～11月27日
男女平等推進センター	12月11日～12月14日
山田区地域福祉推進委員会	12月24日～12月25日
下大利団地区地域福祉推進委員会	1月8日～1月12日
乙金台区福祉部	1月12日～13日
乙金区	1月15日～1月18日
山田区地域福祉推進委員会	1月21日～1月22日
南ヶ丘1区福祉部	1月26日
栄町区地域福祉推進委員会	2月12日
つつじヶ丘区福祉推進部	2月19日
山田区地域福祉推進委員会	2月25日～2月26日
牛頸区地域福祉推進委員会	3月8日
南ヶ丘1区福祉部	3月8日～3月9日
悠生会(よりどころ東)	3月12日
山田区地域福祉推進委員会	3月24日～3月25日
男女平等推進センター	3月28日
南ヶ丘1区福祉部	3月28日～3月29日

平成27年度コミュニケーションマージャン貸出状況・・・延べ24地区、7団体

15 下筒井区認知症行方不明者搜索訓練 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

認知症の方とご家族が抱える問題を他人事としてではなく、自分の問題として捉えていくことができるよう、地域の方に認知症の人とその家族を支えることを理解して頂くとともに、もし認知症の方が行方不明になったとしても、地域全体で搜索する体制づくりと、初動時に地域福祉関係者だけではなく、様々な関係機関と連携を図っていくことを目的に、今年度は下筒井区で開催された。

日 時：平成27年9月6日(日)午前9時00分集合

会 場：下筒井公民館

参加者：154名

下筒井区各種団体	92	名
一般参加者(市内)	20	名
地域密着型サービス事業所	5	名
北在宅介護支援センター	4	名
春日警察署	2	名
春日・大野城・那珂川消防本部	1	名
市役所職員	16	名
社会福祉協議会職員	14	名
計	154	名

訓練開催まで、下筒井区と市の関係各課、北在宅介護支援センターと社協で打ち合わせを重ね、区運営委員会や組長会で協議や進捗状況の共有を図った。また、地域の方々に認知症について正しく理解して頂くため、7月に認知症サポーター養成講座、認知症を理解する講座を開催した。

◎ [下筒井区認知症行方不明者搜索訓練報告書を作成しています。]

5. 広報関係

市内を中心とした幅広い福祉情報を掲載した「社協だより(愛称:ふくしんぼ)」を年6回発行している。

平成27年度実績

1 「社協だより」の発行

主 旨 : 広く地域の福祉情報を収集し、読みやすく、親しみやすい紙面づくりに努めている。

発 行 号 : 151号・152号・153号・154号・155号・156号

2 ホームページ等による情報発信

社協活動、東日本大震災被災地支援情報等を随時更新しながら発信をしている。

ホームページ訪問数 : 41,409

ユーザー数 : 7,808

(4/1～3/31までの実績: グーグルアナリティクスによる解析)

3 ツイッター、フェイスブックによる情報発信

ツイッターとフェイスブックの運用を開始し、社協の活動や災害ボランティア情報等を積極的に発信し、タイムリーな情報発信を行っている。

6. 法外援助対策事業

火災等の被災者に対し、見舞品や見舞金を支給。豪雨災害により公民館に避難された時は、貸ふとんや簡易ベッドを搬入し支援を行っている。

また、認知症高齢者の徘徊等による行方不明者が発生した時は、大野城市行方不明者捜索マニュアルに沿って、市と連携しながら捜索を行っている。

平成27年度実績

台風接近による自主避難への対応準備: 1件

【8/25(火) 貸布団5組】

建物火災: 2件

【6/29(月) 見舞金】 【9/13(日) 見舞金・組布団6組】

行方不明者捜索: 2件

【5/27(水)】 【12月22日(火)】

7. 身体障がい者福祉対策事業

身体障害者福祉協会や障害者施設団体連絡協議会等、当事者組織と連携を図りながら、ハンディを持つ人たちの社会参加を支援することを目的とし、各事業に取り組んでいる。

平成 27 年度実績

1 翔んでふれあって 2015（障がい者大運動会）

2 重度障がい者社会参加事業

期 日：平成27年9月14日（月）
場 所：JR 博多シティ・アサヒビール園（交通手段：リフトカー・電車）
参 加 者：14名（内職員3名、実習生3名）

◎「重度障がい者社会参加（リフレッシュ）事業参加者アンケート調査を実施」

3 大野城市身体障害者福祉協会への支援

共同募金配分金をとおり、その活動の助成を行なうとともに、事業の実施にあたりその活動の支援を行ないました。特に外出が困難な人に対しては、日帰りによるレクリエーションを実施しながら協働で事業を推進した。

4 障害者施設団体連絡協議会への支援

- ◇毎週土曜日に大野城まどかぴあで開設される、ほっとすぽっと「サンサン」の支援。
- ◇総合福祉センター1階、交流スペース「ほっとぴあ」の運営。
- ◇運営委員会の機能強化を図るため、毎月1回の定例会を開催し、研修会や各団体・施設との意見交換会などを行う。

8. 知的障がい児者福祉対策事業

知的障がい児者、そして家族レスパイト等目的に事業に取り組んでいる。特にハンディを持つ仲間たちのふれあいの旅や一時預り事業を通し、自立支援と余暇の過ごし方に力を入れて取り組んでいる。

平成 27 年度実績

1 ふれあいの旅 2015 (第33回)

期 日 : 平成27年11月7日(土)～8日(日)
場 所 : 長崎県(オランダ坂・ハウステンボス)
参 加 者 : 102名(参加者42名、ボランティア54名、職員6名)
協 力 : 大野城市ボランティア連絡協議会

2 小中ふれあいの旅 2015. 8

期 日 : 平成27年8月22日(土)～23日(日)
場 所 : 海響館(下関市)・スペースワールド(北九州市)
参 加 者 : 33名(参加者11名、ボランティア16名、職員6名)

3 夏っ子クラブ (ハンディを持つ子どもたちの夏季休暇一時預かり事業)

内 容 : レクリエーション・創作活動・水遊び、他
期 日 : 平成27年7月24日(金)～8月21日(金)(お盆を除く火曜日と金曜日)
※8/25 台風接近のため中止
場 所 : 大野城市子ども療育支援センター
登録人数 : 26名(小学生13名、中学生9名、高校生4名)
利用者数 : 80名(延べ人数)
登録スタッフ : 90名

4 大野城市手をつなぐ育成会への助成

共同募金配分金をとおり、その活動の助成を行っている。近年、父親を対象とした研修会等が開催され、父親の育成会活動への参加を促進中である。また、育成会のパンフレットもリニューアルすることができた。

9. 高齢者福祉対策事業

核家族化とあわせて、急速にすすむ高齢化により、高齢者世帯の抱える困難な問題や団塊の世代が迎えようとしている定年後の地域社会への参加などが課題である。

平成 27 年度実績

1 大野城市シニアクラブ連合会に対する活動援助

シニアクラブ連合会では、活力ある長寿社会の実現に向けて、生きがいと健康づくりや長年培ってきた知識、経験を地域社会のために生かす取り組みや、通学路における小学生の見守り活動等を展開されている。

職員派遣

期 日 : 5月20日(火)
場 所 : まどかパーク多目的グラウンド
内 容 : 第33回ゲートボール大会

期 日 : 5月26日(火)
場 所 : まどかパーク多目的グラウンド
内 容 : 第24回ペタンク大会

期 日 : 5月28日(木)～29日(金)
会 場 : 大分県日田市天瀬町
内 容 : 理事等研修会

期 日 : 6月16日(火)
場 所 : まどかパーク多目的グラウンド
内 容 : 第22回グラウンドゴルフ大会

期 日 : 9月1日(火)
会 場 : まどかびあ大ホール
内 容 : 第9回歌謡音楽のつどい

期 日 : 9月29日(火)
場 所 : まどかパーク多目的グラウンド
内 容 : 第23回グラウンドゴルフ大会

2 大野城市シニアクラブ連合会への助成

共同募金配分金をとおり、その活動の助成を行なっている。会員相互の健康保持のための活動や健康医療講演会、訪問見守り活動などがなされている。

10. 子育て支援事業

大野城市に転入して間もない親子や、子育てに悩む若い親の支援、保育所への遊具設置など、子どもたちが安心して遊べる場を提供し、子育てしやすい環境づくりを図っている。

平成 27 年度実績

1 子育て支援事業

支 援 内 容 : 総合福祉センター及び福祉バス利用料免除や遊具の貸出
子育てサークル活動費補助(6サークル)

登録サークル : 8 サークル(会員数 153 名)

◇登録子育てサークル一覧

サークル名	主な開催場所	活動時間	会員数
Sunny!!	総合福祉センター	第 4 水曜日	14 名
ぶちらいおん	中央コミュニティ	毎週火曜日(第 3 火曜休)	28 名
チェリーKIDS クラブ	総合福祉センター	月 1～2 回程度	12 名
キッズスマイルクラブ	南コミュニティ 総合福祉センター	毎週木曜日	37 名
赤ちゃん集会!	大野城住宅 集会所	月 1 回	34 名
ママスタディ	総合福祉センター	月 1 回	5 名
ままいる	総合福祉センター	毎月第 1・3 金曜日	12 名
りんごの会	総合福祉センター、他	月 1 回	11 名

2 「子育てサークルだより」の発行

主 旨 : 身近な子育て情報を発信し、安心して子育てできる環境を目指しています。

発 行 号 : 45 号・46 号・47 号・48 号・49 号・50 号

◇地域福祉推進委員会（福祉部会）が主催する子育てサロン

サロン名	地 域	開催場所	活動時間	平均参加者
あいあいくらぶ	牛頸区	公民館	第1水曜日 10:00～12:00(年10回)	12組
すくすくくらぶ	若草区	公民館	第2月曜日 10:00～12:00(年6回)	8組
ムーンキッズ	平野台区	公民館	第1金曜日 10:00～12:00(年8回)	13組
しゃべりば ぽこぽこ	月の浦区	公民館	第4金曜日 10:00～12:00	8組
だっこちゃん広場	南ヶ丘1区	公民館	第1・3木曜日 10:00～11:30	10組
こあら広場	南ヶ丘2区	公民館	第4水曜日 10:00～12:00	9組
あすなるサロン	上大利区	公民館	第4水曜日 10:00～11:30	30組
子育て支援サロン	下大利区	公民館	第1水曜日 10:00～12:00	12組
子育て支援教室	東大利区	公民館	第3月曜日 10:00～11:30	25組
瓦田おひさまサロン	瓦田区	公民館	第4月曜日 10:30～11:30	25組
ひよこっこ	中区	公民館	毎月第4水曜日 10:00～12:00	20組
おひさま広場	釜蓋区	公民館	毎月第2木曜日 10:00～12:00	15組
わかばっ子	乙金東区	公民館	毎月第1木曜日 10:00～12:00	12組
チュールリップサロン	上筒井区	公民館	第2・4水曜日 10:30～11:30	20組
カンガルー広場	下筒井区	公民館	第1・3金曜日 10:00～12:00	13組
子育てにこにこサロン	山田区	公民館	第3火曜日 10:00～12:00	12組
さくらんぼサロン	雑餉隈町区	公民館	第3木曜日 10:00～12:00	10組
子育て支援サロン「らっこ」	栄町区	公民館	第4金曜日 10:00～12:00	15組
親子ふれあい広場	仲島区	公民館	第2・4水曜日 10:00～12:00	18組
はたづめっ子	畑詰区	公民館	毎週木曜日 10:00～12:00	10組

◇たけのこ支援主催のサロン

大野城市へ転入して来る子育て中の親子や他の子育てサークルに登録していない親子に対して、同じ仲間との交流を通して孤立を防ぎ、安心して子育てができる環境と子育てに関する情報提供の場を目的としてその活動が行なわれている。

内 容	開 催 期 日	会 場	参加者
子育てサロン	平成27年 4月 1日(水)	総合福祉センター多目的室	0組
七 夕 会	平成27年 7月 1日(水)	総合福祉センター大会議室	18組
講 演 会	平成27年 9月 2日(水)	総合福祉センター多目的室	19人
子育てサロン	平成27年 11月4日(水)	総合福祉センター多目的室	1組
クリスマス会	平成27年 12月2日(水)	総合福祉センター大会議室	21組
子育てサロン	平成28年 2月3日(水)	総合福祉センター多目的室	5組

3 保育所に遊具等の助成【平野保育園】

共同募金配分金より毎年1ヶ所私立保育所へ遊具等の助成を(250,000 円)行なっている。

物 品： 靴箱

4 遊具の貸出状況

子どもたちの健やかな成長を支えること、また、地域での遊びの機会を支援することを目的に、社会福祉協議会に登録している子育てサークル及び各区公民館で開催される子育てサロンに遊具の貸出しを行っている。

○平成 27 年度貸出延件数 111 件

○貸出の多い人気の遊具

- | | |
|------------|--------|
| 1.わくわくハウス | (66 回) |
| 2.ソフトブロック | (50 回) |
| 3.コースター(大) | (42 回) |
| 4.ミニトンネル | (38 回) |
| 5.ロディ | (25 回) |

11. 児童青少年福祉対策事業

平成27年度実績

1 福祉教育教材「ともに生きる」配布

対 象 : 福祉教育基礎研修会に参加した教職員・民生委員児童委員・福祉委員等
配 布 数 : 参加者 73 名

2 大野城市子ども会育成会連絡協議会への助成

共同募金配分金をとおして、子ども会育成会では、「子どもが主役だ・地域で育てよう子どもたち」を主眼に、子どもの健全育成、地域(各単位子ども会)の発展に向けて、活動が展開されている。

3 保護司会への助成

共同募金配分金をとおして、保護司会では保護司信条である社会奉仕の精神をもって、過ちに陥った人たちの更生に尽くされる活動が行われている。

12. 福祉教育

1 小学校等への福祉教育

市内の小中学校、学童から総合的な学習の時間等を利用した福祉教育の依頼があった時に、職員やボランティア、障がい者など当事者の方と一緒に子どもたちに福祉やボランティアについて学習し、子どもたちひとり一人が“自分たちにできることは何か”を考えるきっかけにつながっている。

開催日	学校名・学年	内 容	支援者
平成27年 6月23日(火)	大野小学校4年 147名	視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名 福祉委員2名
平成27年 6月25日(木)	平野小学校3年 83名	アイマスク体験	
平成27年 6月29日(月)	平野小学校3年 83名	視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名 福祉委員2名
平成27年 7月 2日(木)	平野小学校3年 83名	車いす体験	身体障がい者1名 福祉委員2名
平成27年 8月26日(水)	平野小学校3年 83名	10月授業参観で上映するビデオレター撮影	福祉委員2名
平成27年 8月28日(金)	平野学童 70名	手話に触れる講座	手話の会6名

開催日	学校名・学年	内 容	支援者
平成27年 9月10日(木)	大利小学校4年 156名	視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名 福祉委員2名
平成27年 9月15日(火)	大利小学校4年 156名	車いすユーザーの日常生活について 車いす体験	身体障がい者2名 福祉委員1名
平成27年 9月24日(木)	大野小学校4年 148名	車いすユーザーの日常生活について 車いす体験	介護職員1名 福祉委員2名
平成27年 9月28日(月)	大利小学校4年 156名	アイマスク体験	福祉委員2名
平成27年 9月30日(水)	大野南小学校4年 133名	視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名 福祉委員3名
平成27年10月 2日(金)	大野南小学校4年 133名	アイマスク体験	福祉委員1名
平成27年10月 7日(水)	大利小学校4年 156名	ボランティア活動について	ボランティア4名 福祉委員2名
平成27年10月22日(木)	大城小学校4年 61名	視覚障がい者の日常生活について アイマスク体験	視覚障がい者1名 福祉委員1名
平成27年10月26日(月)	下大利小学校3年 46名	校区でのアイマスク体験・ 車いす体験・バリアフリー マップ作成	福祉委員2名 民生委員6名
平成27年10月27日(火)	大野南小学校4年 133名	車いすユーザーの日常生活について 車いす体験	身体障がい者1名 福祉委員2名
平成27年10月29日(木)	大野東小学校3年 108名	車いすユーザーの日常生活について 車いす体験	身体障がい者1名 福祉委員3名
平成27年11月 9日(月)	下大利小学校3年 46名	校区に出て アイマスク体験・案内 車いす体験・案内	視覚障がい者1名 身体障がい者1名 施設職員1名 福祉委員1名 民生委員3名 主任児童委員1名
平成27年11月10日(火)	大野南小学校4年 133名	聴覚障がい者の日常生活について 手話体験	聴覚障がい者1名 手話の会2名
平成27年11月12日(木)	大野東小学校3年 108名	視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名 福祉委員2名
平成27年12月1日(火)	大野北小学校4年 93名	車いすユーザーの日常生活について 車いす体験	介護職員2名 福祉委員3名
平成27年12月3日(木)	大野北小学校4年 93名	視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名 福祉委員4名
平成27年12月 4日(金)	月の浦小学校3年 84名	車いすユーザーの日常生活について 車いす体験	介護職員1名 福祉委員1名

開催日	学校名・学年	内 容	支援者
平成27年12月11日(金)	大野北小学校4年 62名	点字体験	点訳ボランティア4名
平成27年12月14日(月)	大野北小学校4年 31名	点字体験	点訳ボランティア4名 福祉委員2名
平成28年1月19日(火)	大城小学校3年 67名	「ふくし」とは	
平成28年1月22日(金)	大野南小学校4年 133名	点字体験	点訳ボランティア4名 福祉委員2名
平成28年1月27日(水)	月の浦小学校3年 84名	聴覚障がい者の日常生活 について 手話体験	聴覚障がい者1名 手話の会3名 福祉委員1名
平成28年2月5日(木)	大城小学校3年 67名	車いすユーザーの日常生活 について 車いす体験	身体障がい者1名 福祉委員1名 主任児童委員1名
平成28年2月9日(火)	大野北小学校3年 73名	アイマスク体験	福祉委員2名 主任児童委員1名
平成28年2月10日(水)	大野北小学校3年 73名	車いす体験	福祉委員2名 主任児童委員2名
平成28年2月17日(水)	大城小学校3年 67名	聴覚障がい者の日常生活 について 手話体験	聴覚障がい者1名 手話の会3名 福祉委員1名
平成28年2月22日(月)	大野北小学校3年 37名	アイマスク体験 車いす体験	福祉委員2名 主任児童委員2名

合計回数 33 回 対象児童数 1,159 名

2 福祉教育基礎研修会 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

市内の小中学校の教職員を対象として、子どもたちの主体的な学びにつながる福祉教育とは何か、またその在り方を学ぶとともに、授業実践に活かすことを目的とした研修会を開催した。

期 日 : 平成27年8月5日(水)

場 所 : 総合福祉センター3階大会議室

参加者 : 教職員 34名 福祉委員 24名 民生委員児童委員 9名 その他 5名

内 容 : (1)講演

テーマ 「ともに生きる力を育む福祉教育」

講 師 日本福祉大学 社会福祉学部 教授 原田 正樹 氏

(2)福祉教育教材「ともに生きる」の活用について

共 催 : 大野城市教育委員会

◎[福祉教育基礎研修会参加者アンケート調査を実施]

3 大野城市福祉教育推進校の共同事業 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

小学校の児童を対象に、すべての人々が尊重される社会を目指し、相手の立場に立って考える思いやりの心を育てることを目的に、教育委員会並びに小中学校長と協議を行い、「大野小学校」が福祉教育推進校に選定された。

平成27年11月24日(火) 小学校校長会において概要説明及び推進校のお願い
 平成28年 1月27日(水) 小学校校長会において大野小学校に選定
 平成28年 2月 8日(月) 大野小学校との打合せ(趣旨説明)
 平成28年 2月29日(月) 大野小学校との打合せ(スケジュール確認・プログラム案協議)
 平成28年 3月30日(水) 大野小学校との打合せ(プログラム案策定)

13. 父母子福祉対策事業

ひとり親家庭の相談に対する支援(母子会会議での助言や事業等)を行なっています。

平成27年度実績

1 大野城市母子寡婦福祉会への支援

共同募金配分金をとおして、大野城市母子寡婦福祉会では、日常における母子家庭の生活の安定等を目指して、自立促進につながる総合的なひとり親家庭の施策を充実するための活動が展開されている。

14. 在宅介護者支援事業

在宅で高齢者等の介護をされている家族を対象に、日帰りのリフレッシュ事業などを開催し、介護者同士のつながりをつくることなどを目的として事業を実施している。

平成27年度実績

1 在宅介護者のつどい

主 旨: 市内で在宅介護をしている方等を対象とする。日帰り旅行を通して、意見交換を行う為の交流の場を作り、それぞれの気分転換を図り、今後の在宅介護の在り方について考えていただくことを目的とする。

期 日: 平成28年3月17日(木)

場 所: 八女方面

参加者: 13名(内、初参加者2名)

2 在宅介護者家族の会「花ふぶき」支援

団体役員の方の諸事情により、活動を休止されています。話し合いを重ねながら、今後の会の取り組みの支援を行なっていく。

15. 平成27年度共同募金運動

多くの方々にご協力頂いた共同募金は、地域の福祉活動費や社会福祉協議会が行なう様々な福祉事業に活かされている。

平成27年度実績

1 共同募金啓発チラシデザイン募集

内 容 : 啓発用チラシのデザインを、小学校4年生～6年生から募集し、入選作品を社協だよりの折込みチラシとして全戸に配布。今回、大野東小、大利小、平野小の児童を対象として募集し、446 作品の協力を頂きました。入選作品は、運動期間中、総合福祉センターや各コミュニティセンターに展示した。

応募件数 : 446 件

最優秀作品 : 平野小学校4年 栗山 知己さん

2 共同募金運動キャッチフレーズ（標語）募集

内 容 : 一般市民より大野城市独自の募金運動のキャッチフレーズ(標語)を募集し、啓発活動に活用した。

27年度キャッチフレーズ : 「人と人 つなぐその手に 赤い羽根」(多比良 彩華さんの作品)

応募件数 : 11件

(単位:円)

	平成27年度		平成26年度	
	目 安 額	実 績 額	目 安 額	実 績 額
戸 別 募 金	14,730,000	14,478,775	14,400,000	14,726,404
企 業 募 金	2,800,000	2,664,652	3,000,000	2,589,831
街 頭 募 金	331,000	339,956	370,000	327,321
職域団体募金	820,000	816,225	900,000	811,308
バッジ等募金	598,000	599,275	600,000	591,522
個 人 募 金	450,000	401,270	250,000	1,231,367
イベント募金	72,000	86,360	50,000	70,435
自販機売上募金	438,000	452,046	555,000	433,385
募金箱設置協力	326,000	377,144	350,000	322,221
合 計	20,565,000	20,215,703	20,475,000	21,103,794

Ⅱ－事業・活動

3 支会理事会開催状況（理事総数 16名）

開催年月日			議 題		出席者
平成 27 年	7月2日	第1回	第1号議案	福岡県共同募金会大野城市支会副支会長の互選について	14名
	8月7日	第2回	第2号議案	福岡県共同募金会大野城市支会支会長の互選について	12名
	9月10日	第3回	第3号議案	平成27年度共同募金運動実施計画(案)について	13名
			第4号議案	平成27年度大野城市共同募金運動キャッチフレーズ選考について	
平成 28 年	3月23日	第4回	第5号議案	福岡県共同募金会大野城市支会資金収支予算書案について	13名

4 平成27年度赤い羽根共同募金のつどい in おおのじょう

期 日 : 平成27年9月5日(土)
会 場 : 大野城市総合福祉センター3階大会議室
参 加 者 : 112人

5 企業募金推進会議

地 区	期 日	会 場	参加者
南地区	平成27年10月26日(月)	南コミュニティセンター視聴覚室	34名
東地区	平成27年11月4日(水)	東コミュニティセンター研修室1・2	20名
中央地区	平成27年11月9日(月)	中央コミュニティセンター研修室1・2	16名
北地区	平成27年11月12日(木)	北コミュニティセンター視聴覚室	16名

6 団体周年事業助成

団 体 : 大野城市食生活改善推進会
事業名 : 設立40周年記念事業
内 容 : 炊き出しや地域行事で使える「100人分の料理レシピ集」作成

16. 福祉機器貸出事業

在宅で生活するために車いすや電動ベッドなどを必要とする人で、公的制度を利用する事ができない場合、短期間の貸出を行っている。

平成 27 年度実績

貸出延件数： 車いす(95件)、電動ベッド(9件)

17. 福祉機器リサイクル事業

不要になった電動ベッドや車いすなどの福祉機器を必要としている方に斡旋し、まだ利用可能な福祉機器を活かすことを目的としている。

平成 27 年度実績

登録件数： 電動ベッド(3件)、その他(1 件)
斡旋件数： 電動ベッド(3件)

18. 移送サービス事業

著しく歩行が困難で車椅子等を利用している人や、寝たきりの状態で既存の交通機関を利用することが困難な人に対して、社会参加のひとつの手段として、リフトカーを運行し、障がい者や高齢者の福祉の増進を図ることを目的としている。より多くの方の需要にこたえることができるよう、日本財団より助成を受け、平成22年2月からは車両を1台追加し、2台の運行でサービスの充実を図った。

平成27年度実績

利用登録者数：48名

移送サービス事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
稼働日数(日)	17	13	21	20	17	21	22	17	18	17	16	22	221	18
利用延人数(人)	27	19	33	33	24	33	28	28	30	26	26	35	342	29

◎ [移送サービス利用者アンケート調査を実施]

19. ハンディキャブ貸出事業

車いすを利用している人や車いすを利用しないと外出が困難な人に、車いすに乗ったまま乗車できる軽車両(ハンディキャブ)の貸し出しを行う事業で、ハンディキャブを利用する事で障がい者や高齢者の外出を容易にし、家族の負担を軽減することを目的としています。また、運転者がいない場合、ボランティアセンターにおいて運転ボランティアのコーディネートを行っている。

平成27年度実績

利用登録者数：33名

運転ボランティア登録者数：10名

ハンディキャブ貸出事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
稼働回数	21	15	14	20	8	15	18	19	18	14	15	14	191	16
運転ボランティア稼働人数	8	6	4	9	2	6	7	7	4	3	6	6	68	6

20. 福祉食事サービス(市受託事業)

在宅日常生活支援事業として、ひとり暮らしの高齢者、障がいを持った方などに1年365日食事(昼・夕)を宅配しながら安否確認・見守りを行っている。同事業では、ボランティアグループ「ききょう」の作成による絵手紙を毎月添付している。

平成27年度実績

利用者数 : 月平均77名
 延食数 : 25,151食
 延利用者数 : 924名

※福祉食事サービス利用状況の詳細については、巻末資料「別表5 平成27年度福祉食事サービス利用状況」P 63参照

21. 福祉バス運行事業

福祉バス利用により、地域住民の福祉活動を増進させるため、福祉バス利用申し込み受付と運行管理を行なう。福祉活動を目的とした視察研修等に利用されています。

平成27年度実績

福祉バス運行状況 乗車27人乗り(マイクロバス)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
運行回数(回)	7	17	19	10	6	19	26	24	9	5	11	12	165	14
延利用者数(人)	118	347	363	201	84	437	540	545	168	74	184	220	3,281	273

*利用団体状況

(1)福祉推進委員会、コミュニティ福祉部会、区長会、民児協	81	回
(2)社協が事業を行う上で必要とする場合	7	回
(3)行政が事業を行う上で必要とする場合	15	回
(4)社会福祉団体が福祉活動を行う上で必要とする場合	20	回
(5)福祉に寄与する団体等で使用目的、及びその活動の内容を 勘案し会長が必要と認めた場合	37	回

22. 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

相談者のなかには複合的な課題を抱えていることもあり、貸付のみでは対応が難しいケースも多い。そこで平成27年4月1日からスタートした生活困窮者自立支援制度と密接な連携を図りながら、包括的な支援を提供できるようにすることが重要である。

平成27年度実績

◇生活福祉資金相談・貸付状況(※相談件数は初回相談時を標記)

種 別 / 内 容		相談件数	申込件数	決定件数	貸 付 額
総合支援資金	生活支援費	9	2	2	750,000 円
	住宅入居費	0	0	0	0 円
	一時生活再建費	1	0	0	0 円
教育支援資金	就学支度費	38	30	30	10,852,000 円
	教育支援費	39	29	28	30,876,000 円
福祉資金	生 業	0	0	0	0 円
	技能修得	0	0	0	0 円
	葬 祭	1	0	0	0 円
	転 宅	13	1	0	0 円
	福祉用具購入	0	0	0	0 円
	障がい者自動車購入	1	0	0	0 円
	住宅改修	1	1	1	2,000,000 円
	療養・介護	3	2	2	1,108,000 円
	災害援護・国年・エアコン・必需品	12	2	2	142,000 円
	緊急小口資金	49	29	27	1,772,000 円
不動産担保型生活資金		6	1	1	0 円
合 計		※173	97	93	47,500,000 円

◇臨時特例つなぎ資金相談・貸付状況

種 別 / 内 容	相談件数	申込件数	決定件数	貸 付 額
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0 円
合 計	0	0	0	0 円

23. 被災地支援活動

大野城市社会福祉協議会では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災にて被災し、地震、津波、原発事故、風評の被害がある福島県南相馬市を継続的に支援している。“忘れない”を合言葉に寄り添い、支援を続けている。

平成27年度実績

1 福島県（南相馬市）応援ツアー

東日本大震災後の現地を訪れ、観光等を通して応援するための取り組みとして、4回目となる「東北応援の旅～私たちは忘れない！～」を実施した。

企画名：大野城市社会福祉協議会プロデュース第4弾

「東北応援の旅～私たちは忘れない！～」

期 日：平成27年7月7日（火）～9日（木） 2泊3日

行き先：福島県南相馬市（南相馬市社会福祉協議会職員同行により小高区などを視察）

宮城県名取市（観光支援：関上さいかい市場）

岩手県平泉町（観光支援：中尊寺金色堂）

大船渡市（観光支援：おおふなと夢商店街）

参加者：28名（うち職員2名、添乗員1名）

2 被災地応援「福島県応援ショップ」の運営支援

総合福祉センター1階ロビーにて、「福島県応援ショップ」として福島県南相馬市の特産品等を中心に販売を行っている。購入を通じた支援を行いながら、「つながり」を大切にし、息の長い応援を継続する。

Ⅲ. ボランティアセンター事業

ボランティア活動推進 38

声の広報 44

24. ボランティア活動推進

ボランティアの個人登録及びボランティアグループの活動支援を行なうとともに、ボランティア研修会や各種講習会を開催し、市民のボランティア参加を促進することを目的とする。

平成 27 年度実績

1 ボランティア活動相談・コーディネート状況

ボランティア活動に関する相談件数 : 106件

①活動希望、情報収集に関する相談件数 : 72件

②ボランティアニーズに関する相談件数 : 34件

③ボランティアコーディネート件数 : 124件(うち運転ボランティアは68 件)

コーディネートを行ったボランティア活動内容

- ・高齢者施設等での活動(マジック手品、演芸、楽器演奏、話し相手、イベント補助)
- ・ボランティアグループでの活動(手話、朗読、点字、傾聴、国際交流、スポーツ啓発、おもちゃ修理)
- ・福祉団体事業での活動(イベント、野外活動) ・障がい児預かり事業ボランティア
- ・運転ボランティア ・障がい児者とのふれあいの旅ボランティア ・災害ボランティア
- ・託児ボランティア ・ひとり親家庭学習支援ボランティア ・切手整理ボランティア
- ・新規ボランティア団体登録 (※ボランティア保険手続き 29 件)

2 配信システムによるボランティア情報等の提供

携帯電話やパソコンへの配信システムを構築(グループ別にて配信可)し、ボランティアセンター登録者や福祉委員の方々へ情報の提供を行っている。

登録者数:99名 配信件数:5件

内容:夏っ子クラブスタッフ及び小中ふれあいの旅ボランティア募集、災害ボランティア養成講座案内、学習支援ボランティア募集、九州地区手をつなぐ育成会福岡県大会ボランティア募集、大野城市総合福祉まつり参加者募集

3 ボランティアセンター運営委員会開催：6回

運営委員（4名）：民生委員経験者、ボランティア連絡協議会、障害者団体連絡協議会、有識者各1名

開催年月日			議 題	出席者
平成 27 年	4月16日	第1回	・災害ボランティア養成講座について	3名
	7月 1日	第2回	・災害ボランティア養成講座について ・「おおのじょうボランティアのつどい事業」について	4名
	9月25日	第3回	・市民活動推進計画の今後のスケジュールについて ・おおのじょうボランティアのつどい事業について ・ボランティアエントリースystemについて	3名
	11月25日	第4回	・ボランティアエントリースystemについて ・おおのじょうボランティアのつどい事業について	4名
平成 28 年	2月3日	第5回	・ボランティアエントリースystemについて ・おおのじょうボランティアのつどい事業について ・災害ボランティアセンター設置訓練について	4名
	3月22日	第6回	・ボランティアエントリースystemについて ・おおのじょうボランティアのつどい事業について ・災害ボランティアセンター設置訓練について	4名

4 おおのじょうボランティアのつどい 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

ボランティアセンターを拠点に活動しているテーマ型ボランティアと、各地域で活動している地縁型ボランティアが一堂に会し、情報提供・情報交換、情報共有の充実を図るため、おおのじょうボランティアのつどいを開催しました。地縁型ボランティアやテーマ型ボランティアの対話の場をつくり、お互いのことを知ることから始めることを目的としています。また、この日は東日本大震災発生から5年を迎える日であり、14時46分には参加者全員で黙祷を行った。

開催日時	平成28年3月11日(金) 13:30～16:00
場 所	大野城まどかびあ多目的ホール
参加人数	102名
ファシリテーター	加留部 貴行 氏
対象者	ボランティアセンターに登録しているボランティアグループ及び 個人登録ボランティア、地域福祉活動ボランティア

5 福岡県母子寡婦福祉連合会が実施する学習支援教室のボランティア確保の支援

ひとり親家庭の子どもたちを対象として、学習支援や進学相談を行うことで、学力向上を目指し、将来的に子どもたちの安定的な就労につなげることを目的に、社会福祉法人福岡県母子寡婦福祉会が学習支援ボランティア事業を行っている。この事業には、大学生や教員OB等、子どもたちの良き理解者として協力してくれるボランティアが必要であり、大野城市においてもボランティア募集の呼びかけを行い、県母子寡婦福祉連合会の事業担当コーディネーターへつなぐ支援を行っている。また、会場の提供や大野城市母子寡婦福祉会との連携も引き続き行っている。

大野城市で開催されている学習支援ボランティア事業

活動日時：毎週木曜日 18時から20時

活動場所：大野城市総合福祉センター3階小会議室

活動内容：学校授業の補習などの学習支援、児童の進学相談などの対応

登録児童：27名

登録ボランティア数：14名

※平成28年3月末現在

6 災害ボランティア養成講座 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

近年日本各地で大災害が発生していますが、大野城市においても大規模災害が発生した場合、被災された方が元の生活に戻るための復興支援として災害ボランティアの力が必要になると考えられる。この養成講座では、災害に対する知識や必要なスキルを学ぶためのものとして実施し、様々な災害の特性や、災害ボランティアの意義や役割、災害ボランティアセンターの役割について学び、災害時に様々な場所で活動できるボランティアの養成を目的として開催した。アンケートの結果から、ほとんどの参加者から概ね理解ができたとの声をいただきました。今後のボランティアグループが結成される場合には可能な限り参加したいとの意見もいただくことができた。

開催日	平成27年6月21日(土)・28日(日)
参加人数	初日:24名 二日目:30名
講師	宮崎 雄輔 氏(福岡防災研究会・災害支援プロジェクト会議メンバー)
内容	「災害を知る」～さまざまな災害とその特徴～ 「被災するとどのようなことに困るのか」～被災者の立場になって考える～ 「被災するということ」～被災者主体の災害ボランティア活動～ 「災害時のボランティア活動」～心構えと準備～ 「わたしたちにできる支援活動」～わたしたちのスキルをいかす～ 「災害に備える」～これからの取り組み～

7 災害ボランティアセンター設置訓練（第1回フォローアップ講座）

災害ボランティア養成講座を受講された方を対象に、第1回フォローアップ講座として災害ボランティアセンター設置訓練を行いました。この訓練は、同日に行われる南地区総合避難訓練と同時に開催し、実際に大野城市災害ボランティアセンター運営マニュアルに沿って行った。

開催日	平成28年3月13日(日)
参加人数	災害ボランティア養成講座受講者:13名 社協職員:14名(うち災害ボランティアセンター9名、福祉避難所5名)
内 容	災害メール配信訓練 テント組み立て・設置訓練 災害ボランティアセンター設置訓練

8 ボランティアエントリーシステムの構築準備

第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

ボランティア活動へ気軽に「エントリー(応募)」することができる仕組みを創り、ボランティア活動メニューを開発することにより、新たな人材がボランティア活動を始めの機会を提供するためのボランティアエントリーシステムの構築に向けて、市内のボランティアの受け入れを行っている福祉施設やボランティア団体にボランティアエントリーシステムの趣旨説明及び、求められている活動にどのようなものがあるか(ニーズ調査)を行い、気軽にできるボランティア活動メニューづくりを行った。

また、ホームページから簡単に申込ができるようなツールとしてのシステム構築を行い、試行的に運用を始めました。今後はシステム稼働について課題等を修正していきながら、随時気軽に参加できるようなボランティア活動メニューを増やしていかなければならない。

9 ボランティアセンター登録

★ボランティア登録者数（団体登録者 578 名 個人登録者 191 名）

★ボランティア団体登録状況

総合福祉センター1階のボランティアセンターを拠点に活動しているボランティアグループの支援を行うとともに、ボランティアセンターはボランティアのたまり場として、なくてはならないスペースであり、コピー機や大型プリンターは各種団体や地域の利用も増えている。また、ボランティア連絡協議会は、ふれあいの旅等において常に協働するとともに、共同募金配分金をとおしてその活動への助成を行っている。

大野城市ボランティア連絡協議会 構成数10グループ

グループ名	活動内容	会員数
大野城手話の会	手話講習会の開催、手話通訳者の派遣、聴覚障がい者との交流会	31 名
点訳サークル あゆみの会	点訳講習会の開催、各種点訳活動、視覚障がい者との交流会	16 名
朗読の会 文鳥	朗読講習会の開催、社協だよりや図書の吹き込み、視覚障がい者との交流会	28 名
スニーカー	手をつなぐ育成会の支援、知的ハンディを持つ方々とのレクリエーション活動	12 名
介護ボランティア ききょう	特別養護老人ホームでのお手伝い、食事サービス利用者への絵手紙づくり	16 名
おもちゃの図書館 あいあい	障がいを持つ子どもも持たない子どもも共に遊ぶおもちゃの図書館の開館、手作りおもちゃの作成	18 名
拡大写本 虹の会	弱視の方から要請のある図書の拡大写本づくり、視覚障がい者との交流会	8 名
車いすダンス アミーゴス	車いすダンスの普及活動、車いす利用者との交流会	59 名
運転ボランティア むつわ	社会福祉協議会のハンディキャブ貸出事業における車両の運転	10 名
大野城要約筆記の会 びあ	聴覚障がい者への文字による同時通訳活動、要約筆記奉仕員養成講座の開催	10 名
計		208 名

ボランティアセンター登録グループ 18グループ

グループ名	活動内容	会員数
まちづくり懇談会	市民サイドからのまちづくり研究やふるさとづくり活動	11名
NPO法人 アジア女性センター	子どもと女性の人権を守るためのサポート事業、海外支援、交流事業、提言、ネットワーク事業(調査、研究)	70名
グループファンタジア	施設や敬老会等でのマジックボランティアやマジックによる各種団体との交流活動	10名
創人エイサー守破離太鼓	施設や老人会、地域でのイベント等での演舞	36名
国際交流協会	コミュニティ活動等を活かした国際交流の推進	111名
子育てサポーター たけのこ支援	大野城市に引っ越してきた親子等を対象に子育てサロンを開催	10名
おもちゃ病院大野城	壊れたおもちゃの修理	7名
花の芽クラブ	障がいのある人とない人が一緒に楽しめる風船バレーボールを通しての交流活動及び普及活動	21名
ボランティアグループ りんごの会	近隣の公民館や福祉施設等で唄や踊り、楽器演奏などを通しての慰問活動	5名
大野城傾聴ボランティア 「ダンボ」	大野城市内の施設等における傾聴ボランティア活動	24名
大野城学習支援塾	生活困窮家庭の子どもに対する学習支援や保護者への進学助言を行う	5名
おやのかい MIRAI	発達障害の子どもや保護者、発達障害に理解ある者が会員となり、発達障害の子どもたちが安心して就労できる企業や事業所を訪問して増やす活動	11名
にほんご教室フレンズ	留学生等の外国人に日本語を教え、学習することとおして国際交流を図り会員相互の理解を深める活動	5名
しゃくなげ会	施設等においてギターや三味線、大正琴などの楽器を使って季節の童謡や歌謡曲、ナツメロ音楽を演奏	4名
マジック雅	マジックを通じた地域の方々との交流や、地域社会の活性や社会福祉の情操を目指した活動	12名
LaLaLa 音楽レクリエーション	介護予防や認知症予防のための音楽療法やレクリエーションの要素を取り入れた音楽や、子どもを対象にした音とリズムと歌を楽しむ活動	3名
ららら♪ シニアネットオーケストラ	施設等での童謡・唱歌・夏メロなどの昔懐かしい曲の生演奏活動	20名
いきいき健康レクササイズ	レクリエーションの要素を取り入れた椅子に座ったままできる運動(エクササイズ)や昔懐かしい歌を取り入れた運動	5名

計 370 名

25. 声の広報

目の不自由な方や寝たきりの方に、青年団体連絡協議会が市の広報を、朗読の会「文鳥」が社協だより、季節のたより『紙飛行機』、希望図書等をカセットテープに吹き込み、自宅に届けている。

平成 27 年度実績

利 用 者 数 : 11 名 (平成28年3月末時点)

延べ利用回数 : 245 回

26. 総合相談事業

地域住民の悩みを一緒に考え、よりよい解決策をさがし、問題解決を図るため、弁護士による専門相談や常勤相談員による助言を行う場を総合福祉センター内に設けている。

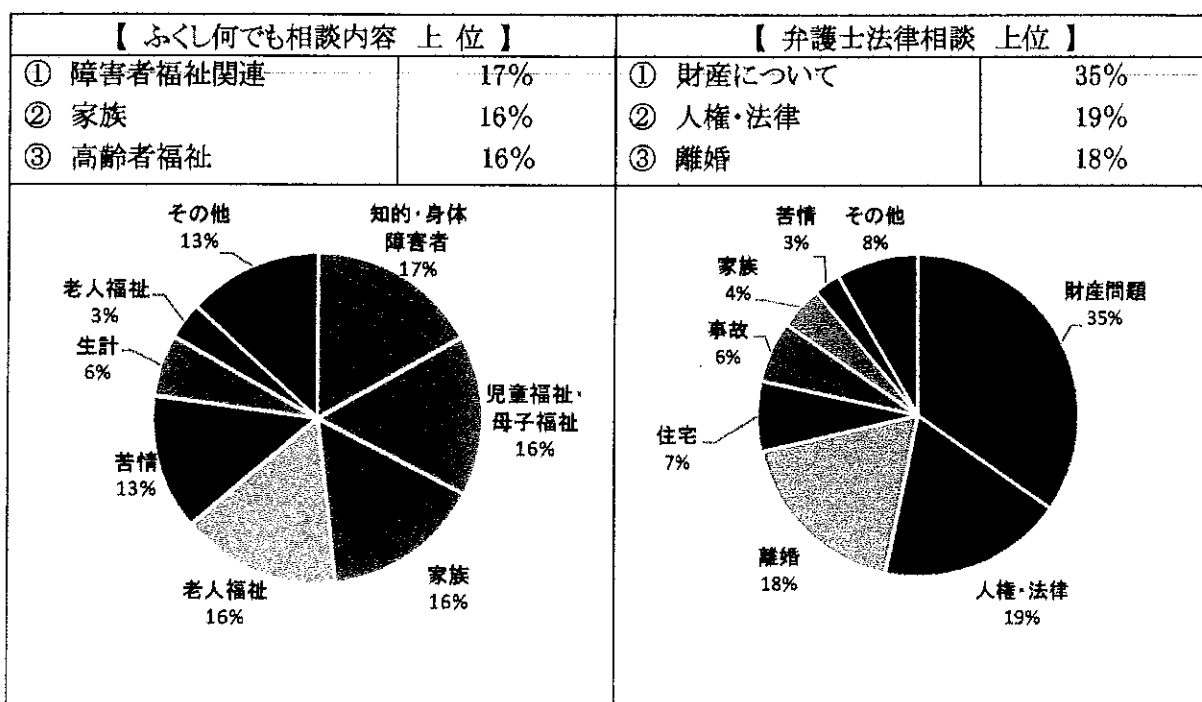
◇市の広報掲載内容

問 社会福祉協議会 ☎(572)7700 ふくし何でも相談 福祉の各種相談を随時受け付けています。 電話相談可☎(501)3311 ※正午から午後1時までは昼休み、土・日・祝日・年末年始は休み	弁護士による電話法律相談 生計・離婚・相続・債務整理・借家などの法律相談 ☎毎月第2木曜日午前10時～正午 (受付は午前11時40分まで) ☎(501)7830	弁護士による心配ごと相談 生計・離婚・相続・債務整理・借家などの法律相談 ☎◇第1～3火曜日午前10時～正午 ◇第4火曜日午前10時～午後3時 ※受付は午前9時～、午後0時45分～ 事前予約可(午前11時～正午)
--	--	--

平成27年度実績

1 相談内容・状況等

相談員：	社協担当職員1名、弁護士6名	協力：	民生委員4名
内 容：	心配ごと相談(第1・2・3・4火曜日)	200件(45回)	
	電話法律相談(第2木曜日)	32件(10回)	
	ふくし何でも相談(月～金曜日)	123件	
	大野城市総合福祉まつり法律相談会	2件(平成27年11月29日開催)	



*経済の不安定からの生活不安が引き金になっておこる相談事例がふえている。また、実際に弁護士に委任した方がよいと思われる複雑な案件も多くなっている。場合によっては、傾聴・アドバイスにとどまらず他の機関が行っている支援へと確実につなぎ、相談者のよりよい生活へむけて尽力している。

IV. 総合相談事業

総合相談事業 …… 45

2 相談員懇談会の開催

市民が活用しやすい相談事業のあり方を協議し、改善点の確認を行い、相談事例の情報交換を行った。

期 日	参 加 者
平成 28 年 1 月 26 日	弁護士 6 名 相談関係職員

3 地域のニーズに応えるための協議・確認事項

他機関においての各種相談との差別化を図り、法律相談以前の身の上相談を含む幅広い相談に対応している。広報についても担当弁護士と連携を図りながら積極的に取り組み、地域の方に広く利用していただけるよう環境づくりに努めている。

V. 介護サービス事業

介護サービス事業 47

27. 介護サービス事業

介護サービス事業については、地域福祉活動の視点をもって社協らしい介護サービス事業を展開すべく職員の資質向上に努めた。

区分	施策	活動内容
介護保険事業	指定居宅介護支援事業	介護支援専門員によるケアプランの作成
	指定訪問介護事業	訪問介護員が居宅に伺い、身体介護・生活援助のホームヘルプサービスの提供 ＜実施＞月～日曜日 7:00～24:00
	指定訪問入浴介護事業	看護職員等が居宅に移動入浴車で伺い、浴槽を搬入し入浴介護サービスの提供 ＜実施＞月～日曜日 8:30～21:00
受託事業	高齢者ホームヘルプサービス事業	介護保険非該当者・介護保険の補完者への生活援助等のホームヘルプサービスの提供
	難病患者等ホームヘルプサービス	難病患者等への生活援助等のホームヘルプサービスの提供
	地域生活支援事業	平成 18 年 10 月より新設された障がい福祉サービスの一部 ・移動支援 移動に支援を必要とする方(視覚障がい者等)を対象とした移動支援サービス。屋外での移動が困難な障がい児(者)に対して、学校や通所施設への送迎や外出の訓練等の際に、学校等へ送迎も行います ・訪問入浴サービス 身体障がい者で自力の入浴ができない方への訪問入浴サービス
	訪問入浴サービス事業	身体障がい者の方(65 才未満)・介護保険外の高齢者の方への移動入浴車による入浴介護サービスの提供
	タイムケア事業	障がいのある 18 才以下の子どもに放課後の活動場所を提供するとともに、保護者等の一時的休養を確保するための一時預り事業 ◇すこやか交流プラザ等におけるタイムケア事業 ＜実施＞ 火曜日 15:00～18:30 第 1・第 3 土曜日、第 4 日曜日 9:30～17:30 冬休み、春休み期間中の火、金曜日 9:30～17:30 ◇特別支援学級が設置されている、小中学校内における(ヘルパー等を派遣する)タイムケア事業 ＜実施＞ 長期休暇中や学校休校日を除く月～金曜日 学校終業時～17:00
	学童保育ホームヘルパー派遣	学童保育所における障がい児に対するホームヘルパー派遣
	赤ちゃんホームヘルプサービス	基本的には生後 8 週間以内の赤ちゃんのいる家庭を対象に、日常支援が必要な場合にホームヘルパーを派遣する
	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業)	生後4か月未満の乳児のいる家庭に訪問し、育児に関する不安や悩みの聴取・相談、親子の心身の状況や養育環境の把握、子育て支援に関する情報提供を行う

区分	施策	活動内容
障害福祉サービス	居宅介護	ホームヘルプサービスと呼ばれているサービスで、自宅で入浴・排泄・食事などの介護を行います
	重度訪問介護	重度の肢体不自由者で、常に介護が必要な障がい者に、自宅で入浴・排泄・食事の介助を行います。外出時の移動を助け、移動中の介護も行います
	行動援護	知的障がいや精神障がいにより行動が困難で常に介護が必要な障がい者に、行動するときの危険を回避する援助や外出時の移動の補助を行います
	同行援護	視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する者に、外出時において同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護、排泄・食事等の介護等を行います
	指定特定相談支援 指定障害児相談支援	サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障がい者・児の自立した生活を支え、障がい者・児の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援を行います
制度外	ほっとサポート	①制度上(障害者総合支援法、介護保険等)のホームヘルパー派遣において制限をうける人 ②ホームヘルパーの派遣をうけないと日常生活に支障をきたす人を対象とするサービス。地域の中で安心して暮らせるように、日常生活に必要な介護等の支援を行うことを目的とした大野城市社会福祉協議会独自の事業

平成 27 年度実績

1 介護サービス状況

巻末資料「別表 2 平成 27 年度 介護サービス状況」P 58～60 参照

2 制度外介護サービス状況

巻末資料「別表 3 ほっとサポート状況」P 61～62 参照

3 介護サービス研修会

巻末資料「別表 4 平成 27 年度 介護サービス研修会開催状況」P 63 参照

4 実習生受け入れ状況

◇平成27年度 訪問介護実習生受け入れ状況

団体名		人数
麻生医療福祉専門学校	7/9～7/10	1
	7/23～7/24	1
	8/4～8/5	1
	8/11～8/12	1
	11/19～11/20	1
	12/3～12/4	1
合 計		6

VI. 総合福祉センター

総合福祉センター …… 49

28. 総合福祉センター

総合福祉センター1階の交流スペース「ほっとびあ」、また「ボランティアセンター」は、毎日多くの市民の方に利用していただいております。また、2階、3階会議室等においては、机等の器具の買い替えや改修工事を行い、より利用しやすいよう環境整備に努めている。

今後も、市民に開放された、誰もが利用しやすい福祉センターとして、また本来の目的である福祉活動の拠点として運営を行っている。

平成27年度実

	社 協		①福祉団体等		②行政関係		一般有料		合 計	
	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数
4月	14	119	106	1,552	13	245	21	943	154	2,859
5月	15	178	96	1,373	11	166	24	1,046	146	2,763
6月	18	216	115	1,531	24	1,071	21	1,007	178	3,825
7月	21	253	101	1,564	19	485	22	1,297	163	3,599
8月	19	323	106	1,646	13	287	20	708	158	2,964
9月	20	343	117	1,861	13	338	28	1,214	178	3,756
10月	24	316	118	1,454	9	222	33	1,513	184	3,505
11月	15	384	114	1,657	17	1,080	32	1,462	178	4,583
12月	15	244	93	1,303	16	524	27	1,685	151	3,756
1月	12	137	78	1,006	13	246	28	1,355	131	2,744
2月	15	146	105	1,367	12	461	26	1,129	158	3,103
3月	33	354	154	1,455	10	285	19	942	216	3,036
合計	221	3,013	1,303	17,769	170	5,410	301	14,301	1,995	40,493

◇平成27年度 総合福祉センター利用状況 ①福祉団体等

	福 祉 団 体 等						合 計	
	ボランティア		福祉関係		その他			
	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数
4月	76	1,091	18	380	12	81	106	1,552
5月	68	882	18	438	10	53	96	1,373
6月	83	1,016	16	364	16	151	115	1,531
7月	70	981	20	520	11	63	101	1,564
8月	66	841	27	715	13	90	106	1,646
9月	75	897	30	877	12	87	117	1,861
10月	85	974	18	363	15	117	118	1,454
11月	80	989	21	572	13	96	114	1,657
12月	59	752	23	440	11	111	93	1,303
1月	54	611	16	311	8	84	78	1,006
2月	72	917	19	341	14	109	105	1,367
3月	118	847	19	379	17	229	154	1,455
合計	906	10,798	245	5,700	152	1,271	1,303	17,769

◇平成27年度 総合福祉センター利用状況 ②行政関係

	行政関係								合 計	
	福 祉		教 育		総 務		その他			
	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数
4月	10	222	2	20	0	0	1	3	13	245
5月	8	143	2	20	0	0	1	3	11	166
6月	12	343	7	450	0	0	5	278	24	1,071
7月	12	270	3	130	0	0	4	85	19	485
8月	7	123	3	120	0	0	3	44	13	287
9月	7	133	2	20	0	0	4	185	13	338
10月	6	200	2	20	0	0	1	2	9	222
11月	8	160	7	820	1	50	1	50	17	1,080
12月	9	192	3	110	1	110	3	112	16	524
1月	6	138	2	20	0	0	5	88	13	246
2月	4	97	3	130	0	0	5	234	12	461
3月	5	53	3	30	0	0	2	202	10	285
合計	94	2,074	39	1,890	2	160	35	1,286	170	5,410

VII. 権利擁護事業

日常生活自立支援事業	 51
法人後見事業について	 52

29. 日常生活自立支援事業 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

社会福祉法に基づき、認知症の方、知的障がい者、精神障がい者などの判断能力が不十分なため日常生活が困難な方に対して、自立した地域生活が送れるように社協に生活支援員(兼務)を配置し、福祉サービスの利用や日常的金銭管理、書類等(権利書、預貯金通帳)の預かり等のサポートを行っている。

地域福祉関係者を生活支援員とした事業として、生活支援員を段階的に増員していくこととしている。

平成 27 年度実績

◇新規相談件数 : 18名 (男性 12名 女性 6名)

類型内訳:認知症 10名 知的 2名 精神 6名

◇利用者数 : 20名 (男性10名 女性10名)

類型内訳:認知症 15名 知的 1名 精神 3名 重複(知的・精神)1名

県社協契約外の支援 0名(大野城市社協独自の支援)

◇生活支援員 援助活動実績表 生活支援員 9名(内、社協職員 3名)

	件数	回数	終了	開始
4月	14	24		
5月	13	24		1
6月	14	23		
7月	13	21		
8月	14	23	1	
9月	12	17	1(独自)	
10月	14	20		
11月	13	13		
12月	15	13	1	2
1月	16	16		2
2月	19	23		3
3月	20	28		1
合計	177	245	3	9

◇生活支援員会議

開催日	内容
6月30日(火)	・日常生活自立支援事業の現状について ・支援内容・対応の難しい支援について(意見交換) ・第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画について
8月31日(月)	・日常生活自立支援事業の現状について ・支援の中での疑問点・課題
10月27日(火)	・日常生活自立支援事業の現状について ・生活支援員の役割について
12月8日(火)	・日常生活自立支援事業の現状について ・支援員に求められるコミュニケーション技術と障がいに対する理解
2月23日(火)	・日常生活自立支援事業の現状について ・新規相談・新規契約のケースについて

30. 法人後見事業について 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

◇法人後見事業実施に向けての準備

先進地視察研修等を踏まえながら、法人後見実施要綱並びに成年後見運営委員会設置要綱を作成するにあたり、弁護士(社協法律相談員)と司法書士(大野城市手をつなぐ育成会会員)に協力を依頼し、要綱の作成を行い、法人後見事業実施に向けての準備を整えた。

◇先進地視察研修

期 日 : 平成27年9月29日(火)
 研 修 先 : 福岡市社会福祉協議会
 内 容 : 法人後見事務の流れについて
 参 加 者 : 3名(小谷・井上・田端)

期 日 : 平成27年10月4日(日)
 研 修 先 : 福岡県社会福祉士会権利擁護センター「ばあとなあ」
 内 容 : 「支援者のための成年後見活用講座」
 参 加 者 : 2名(井上・田端)

期 日 : 平成27年11月13日(金)
 研 修 先 : 夢サイトかほ
 内 容 : みんなの力で地域を支え合うフォーラム
 「市民後見人の役割と成年後見制度の行方 ～2025年問題を考える～」
 参 加 者 : 2名(井上・田端)

VIII. 寄附採納事業

寄附採納事業 …… 53

31. 寄附採納事業

寄附金は在宅高齢者・障がい者の方への支援事業やボランティアセンター運営事業など社会福祉協議会が行なう民間社会福祉事業に活用されている。

※寄附種別

- 一般寄附 …… 個人、団体の善意による寄附
- 香典返し寄附 …… 故人並びにご遺族のご遺志による寄附
- 指定寄附 …… 指定した事業に充てられる寄附
- 物品寄附 …… 車いす、紙オムツなど物品による寄附

平成 27 年度実績

◇寄附採納事業実績

寄附種別	件 数	寄附内容
一 般 寄 附	60件 (商品券) 1件	1,751,139円 20,000円
指 定 寄 附	1件	100,000円
車両寄附(指定寄附)	1件	ハンディキャブ(ダイハツ軽車両) 1台
香 典 返 し 寄 附	20件	1,734,920円
(合 計)	82件	3,606,059円
物 品 寄 附	79件	車椅子15台 シャワーチェア5台 介護補助車1台 杖2本 紙おむつ15件 テレホンカード1枚 文房具8件 お菓子21件 素麺6箱 炊飯器2台 拡大読書器1個 衣類他7件 毛糸・生地2件 布団一式 ベビーカー1台 ベビーベッド・ベビー布団一式 子供用食事テーブル椅子 竹のおもちゃ一式 食器 鍋一式6件 ベストポジションハー1個 雛飾り(7段)兜飾り・博多人形一式 洗濯機1台 2016年カレンダー4部 バイク2台 手押し車2台 車椅子用カバー1個 ポータブルトイレ3個 座椅子1個 クッション2個 冷蔵庫2台 航空自衛隊春日基地ファミリーコンサートチケット30枚 風景パズル31箱 簡易ベッド1台 学習机2台 腰用ベルト(コルセット)1個 ランドセル1個 ミトン1個 未使用切手・ハガキ(一般寄附へ)

―税控除の適用について―(社会福祉協議会へのご寄附は特定寄附金です)

個人寄附者

寄附金控除額

=

1月～12月まで
特 定 寄 附 金 } どちらか
総所得の40%相当額 } 少ない額

－ 2,000円

企業寄附者

全額損金算入限度額

=

1月～12月まで
(資本金の0.25%)+(所得の金額の5%)÷2

★但し、税制改正により変更になることがある。

IX. そ の 他 の 事 業

第 16 回大野城市総合福祉まつり		54
社会福祉援助技術現場実習受け入れ		54
職員の資格（取得）状況		55
職員内部研修		56

32. 第16回大野城市総合福祉まつり第1期大野城市地域福祉活動における
市民活動推進計画

高齢者・障がい者・児童福祉などに対する正しい理解と普及啓発を図るとともに、市民の地域福祉活動を促進することを目的とした総合福祉まつりは今回で16回目を迎え、また第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画の方策事業の1つにも掲げられ、今回はこれまで行ってきたまつりの内容を大幅に見直しが行われ、JOY倶楽部ミュージックアンサンブルのコンサートや、九州盲導犬協会による盲導犬体験歩行や講話、ヘルパーと作るからだにやさしい料理教室など大人から子どもも楽しめる新しいメニューが一新され、これまでになかった特に若い世代層の来場があった。

平成27年度実績

内 容：式典、福祉施設団体や子ども達などのアトラクション、作品展示販売コーナー、フリーマーケット、福祉お楽しみコーナー（バルーンアート、ボランティア体験）、日赤移動式かまど実演など

期 日：平成27年11月29日（日）

場 所：大野城まどかぴあ・市役所南側玄関前広場及び総合福祉センター周辺

参 加 者：約2,500人

主 催：大野城市総合福祉まつり実行委員会

共 催：大野城市・大野城市社会福祉協議会

33. 社会福祉援助技術現場実習受け入れ

将来の福祉従事者を育成する一環として、各学校からの実習生の受け入れを行なっています。実習内容は、社会福祉協議会の事業全般にはじまり、介護サービス（訪問介護、訪問入浴）、コミュニティワーカーの地域福祉活動の現場実習等、様々なカリキュラムを組んでいます。

平成27年度実績

◇実習生受け入れ状況

実 習 期 間		大 学 名	人 数
平成27年度	8月10日（月）～ 9月15日（火）	筑紫女学園大学	1
	8月10日（月）～ 9月15日（火）	西南学院大学	2
	9月16日（水）～ 9月30日（水）	県立広島大学	1
	9月16日（水）～ 9月30日（水）	西南学院大学	1
	10月19日（月）～11月20日（金）	久留米大学	2
延べ日数 168日			延べ人数7人

34. 職員の資格（取得）状況

社協職員は業務上、必要な資格を持ち合わせていなければならない場合があり、職員が自らの仕事力を高めるために様々な資格の取得に努力しています。

資格等名	社会福祉士	社会福祉主事	社会保険労務士	ボランティアコーディネーションカ		社協会計実務通信講座			簿記3級以上	応急手当普及員	防災士	防火管理者	介護支援専門員	主任介護支援専門員	看護師	介護福祉士	ホームヘルパー		介護職員初任者研修	ガイドヘルパー	成年後見人養成	認知症センター方式地域推進員	認知症キャラバンメイト
				2級	3級	上級	初級	入門									1級	2級					
事務局	5	5	1	2	5	1	1	2	6	8	4	3	2	1		1		4	1	1	1		1
介護サービス	2	1							6	3		2	9	1	3	25	7	30		14	1	1	10
総数	7	6	1	2	5	1	1	2	12	11	4	5	11	2	3	26	7	34	1	15	2	1	11

資格等名	社会福祉士実習指導者	行動援護	障がい者ヘルパー	精神障がい者ヘルパー	難病ヘルパー	保育士	認知症ケア専門士	幼稚園教諭	福祉住環境	福祉用具相談専門員	介護クラーク事務	医療事務	調理師	学校教諭	同行援護	図書館司書	介護福祉士実習指導者	障害者相談支援従事者	バリデーション	略収吸引（第3号）	第二種衛生管理者	大型一種運転免許
事務局	2				1	1	1	1	1			2						1			1	1
介護サービス	1	5	4	6	5	1		1	3	1	3	3	2	2	3	2	1	2	2	2		
総数	3	5	4	6	6	2	1	2	4	1	3	5	2	2	3	2	1	3	2	2	1	1

35. 職員内部研修

◇平成27年度職員内部研修

①接遇研修

開催月日	平成27年6月13日
開催場所	大野城市総合福祉センター
参加者	職員48名
研修内容	接遇研修 (DVD 学習、エゴグラムを使った自己分析)

②人権研修

開催月日	平成27年12月12日
開催場所	大野城市総合福祉センター
参加者	職員43名
研修内容	人権研修 「変わる社会と人権のいま～新聞記者が人権擁護委員になって思うこと～」 講師:馬場 周一郎 氏

○事務局職員現場体験

- ・介護現場体験（ヘルパー同行）
- ・配食現場体験（配食同行）

資 料

別表 1	社協会員推進状況	… 57
別表 2	介護サービス状況	… 58
別表 3	ほっとサポート状況	… 61
別表 4	介護サービス研修会開催状況	… 62
別表 5	福祉食事サービス利用状況	… 63
別表 6	職員研修参加等実績	… 64

別表1

平成27年度社協会員推進状況

区別	一般会員			賛助会員			特別会員			平成27年度実績			平成26年度実績			前年度比較
	件数	口数	金額	件数	口数	金額	件数	口数	金額	件数	口数	金額	件数	口数	金額	
牛額	922	978	489,000	1	1	2,000	0	0	0	923	979	491,000	997	997	499,800	△ 8,800
若草	527	609	311,400	1	1	2,000	1	1	5,000	529	611	318,400	611	611	316,400	2,000
平野台	962	964	482,000	0	0	0	0	0	0	962	964	482,000	963	963	483,000	△ 1,000
月の浦	1,186	1,254	627,000	0	0	0	0	0	0	1,186	1,254	627,000	1,278	1,278	639,000	△ 12,000
南ヶ丘1	1,710	1,850	925,000	0	0	0	1	1	5,000	1,711	1,851	930,000	1,869	1,869	934,500	△ 4,500
南ヶ丘2	1,057	1,057	528,500	0	0	0	0	0	0	1,057	1,057	528,500	1,059	1,059	529,500	△ 1,000
つつじヶ丘	1,084	1,174	587,000	1	1	2,000	0	0	0	1,085	1,175	589,000	1,136	1,136	568,000	21,000
上大利	75	1,473	736,500	3	3	6,000	0	0	0	78	1,476	742,500	1,497	1,497	750,000	△ 7,500
下大利	423	864	432,000	1	1	2,000	4	4	20,000	428	869	454,000	801	801	418,500	35,500
東大利	659	924	464,100	0	0	0	1	1	5,000	660	925	469,100	1,079	1,079	563,800	△ 94,700
下大利団地	1	540	270,000	1	1	2,000	1	1	5,000	3	542	277,000	482	482	244,000	33,000
白木原	811	1,051	525,500	1	1	2,000	0	0	0	812	1,052	527,500	1,105	1,105	560,000	△ 32,500
瓦田	399	1,090	544,676	29	29	58,000	7	7	35,000	435	1,126	637,676	1,103	1,103	629,500	8,176
釜蓋	101	594	297,000	2	2	4,000	0	0	0	103	596	301,000	526	526	282,500	18,500
井の口	519	521	260,500	0	0	0	0	0	0	519	521	260,500	490	490	245,000	15,500
中	523	873	436,500	1	1	2,000	0	0	0	524	874	438,500	870	870	436,500	2,000
乙金	238	393	235,806	2	2	4,000	0	0	0	240	395	239,806	281	281	152,060	87,746
乙金台	488	491	245,500	0	0	0	0	0	0	488	491	245,500	492	492	246,000	△ 500
乙金東	426	435	217,500	0	0	0	0	0	0	426	435	217,500	437	437	218,500	△ 1,000
大池	397	397	198,500	0	0	0	1	2	10,000	398	399	208,500	394	394	206,000	2,500
上筒井	683	1,431	715,500	2	2	4,000	0	0	0	685	1,433	719,500	1,430	1,430	715,000	4,500
下筒井	207	488	244,000	3	3	6,000	1	1	5,000	211	492	255,000	438	438	232,500	22,500
山田	564	574	287,000	6	6	12,000	0	0	0	570	580	299,000	610	610	309,500	△ 10,500
雑餉隈町	123	134	67,000	1	1	2,000	4	4	20,000	128	139	89,000	133	133	86,000	3,000
栄町	119	123	61,500	3	3	6,000	1	1	5,000	123	127	72,500	104	104	65,500	7,000
仲島	160	220	110,000	0	0	0	0	0	0	160	220	110,000	194	194	100,000	10,000
畑詰	113	199	99,500	0	0	0	2	4	20,000	115	203	119,500	204	204	102,000	17,500
シマカガ	1	1	500	3	3	6,000	20	22	110,000	24	26	116,500	21	21	82,500	34,000
食改善	0	0	0	1	4	8,000	21	41	205,000	22	45	213,000	39	39	195,000	18,000
企業・団体	15	32	16,000	8	8	16,000	17	20	100,000	40	60	132,000	38	38	131,500	500
リフト利用者	0	0	0	14	14	28,000	8	13	65,000	22	27	93,000	27	27	100,500	△ 7,500
ハデイヤ利用者	3	3	1,500	1	1	2,000	0	0	0	4	4	3,500	16	16	27,500	△ 24,000
福祉機器利用者	4	12	6,000	1	1	2,000	0	0	0	5	13	8,000	20	20	13,000	△ 5,000
個人																0
合計	14,500	20,749	10,422,482	86	89	178,000	90	123	615,000	14,676	20,961	11,215,482	20,744	20,744	11,083,060	132,422

別表2 平成27年度 介護サービス状況

			H27						
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	
介護保険適用	居宅サービスケアプラン作成(人)		110	107	108	110	109	107	
	介護予防ケアプラン作成(人)		5	4	5	4	4	4	
	指定訪問介護(人)		51	54	52	53	52	49	
	指定介護予防訪問介護(人)		42	39	41	39	37	38	
	指定訪問入浴(人)		3	3	3	4	3	5	
	指定介護予防訪問入浴(人)		-	-	-	-	-	-	
	件数合計		211	207	209	210	205	203	
	ヘルパー実働 (時間)	身体介護	158.00	146.00	160.50	160.00	155.50	158.50	
		生活援助	318.02	325.80	343.08	352.26	289.71	294.25	
		計	246.50	231.50	244.50	234.00	210.75	223.00	
		計	722.52	703.30	748.08	746.26	655.98	675.75	
入浴スタッフ稼働回数	実施	14.00	12.00	15.00	19.00	23.00	24.00		
	キャンセル	-	-	1	4	4	2		
障害福祉サービス	指定特定相談支援		計画相談	0	0	0	17	12	10
			モニタリング	0	0	0	2	0	8
	居宅介護	対象者 (人)	障害者	18	17	20	20	19	18
			知的障害者	3	3	3	3	3	3
			障害児	1	1	1	1	1	1
			計	22	21	24	24	23	22
		身体介護 (時間)	障害者	118.50	120.00	148.00	147.50	137.00	145.50
			知的障害者	33.00	31.50	33.00	31.50	25.00	32.00
			障害児	54.00	50.00	53.50	55.00	26.00	44.00
			計	205.50	201.50	234.50	234.00	188.00	221.50
		家事援助 (時間)	障害者	102.00	99.00	129.50	133.50	104.50	117.50
			知的障害者	20.00	19.00	21.00	21.00	20.00	18.00
			障害児	-	-	-	-	-	-
			計	122.00	118.00	150.50	154.50	124.50	135.50
	合計		327.50	319.50	385.00	388.50	312.50	357.00	
	行動支援	対象者 (人)	障害者	-	-	-	-	-	-
			知的障害者	-	1	1	1	1	-
			障害児	-	-	1	-	1	1
			計	-	1	2	1	2	1
時間		障害者	-	-	-	-	-	-	
		知的障害者	-	10.00	10.00	9.00	10.00	-	
		障害児	-	-	0.50	-	0.50	0.50	
		計	-	10.00	10.50	9.00	10.50	0.50	
同行支援	対象者(人)	視覚障害者	3	3	2	4	2	1	
	時間	視覚障害者	31.50	37.50	16.00	12.50	9.50	4.00	
地域生活支援事業	対象者 (人)	障害者	1	1	1	1	1	1	
		知的障害者	2	3	2	2	3	2	
		障害児	7	7	9	8	4	7	
		計	10	11	12	11	8	10	
	移動身体 あり(時間)	障害者	-	-	-	-	-	-	
		知的障害者	3.00	4.00	4.00	4.00	6.00	4.00	
		障害児	16.00	24.00	24.50	15.00	4.00	21.50	
		計	19.00	28.00	28.50	19.00	10.00	25.50	
	移動身体 なし(時間)	障害者	2.50	7.00	3.50	4.00	4.00	6.50	
		知的障害者	2.00	8.50	4.00	5.00	2.00	3.00	
		障害児	15.50	16.25	26.50	13.25	2.25	15.50	
		計	20.00	31.75	34.00	22.25	8.25	25.00	
	合計		39.00	59.75	62.50	41.25	18.25	50.50	
	入浴事業対象者(人)		1	2	1	2	1	1	
障害者(回)		9	9	9	10	9	8		
計		11	13	13	13	9	11		
障害福祉対象者計		36	38	41	42	36	35		
サービス利用者 計		247	245	250	252	241	238		
ヘルパー総稼働時間数		1,120.52	1,130.05	1,222.08	1,197.51	1,006.71	1,087.75		
入浴事業稼働回数		23	21	24	29	32	32		

			H27			H28			合 計	
			10月	11月	12月	1月	2月	3月		
介護保険適用	居宅サービスケアプラン作成(人)		107	106	107	105	109	107	1,292	
	介護予防ケアプラン作成(人)		5	5	5	5	5	5	56	
	指定訪問介護(人)		47	49	48	47	46	46	594	
	指定介護予防訪問介護(人)		37	35	33	33	32	32	438	
	指定訪問入浴(人)		5	5	6	6	6	6	55	
	指定予防訪問入浴(人)		-	-	-	-	-	-	0	
	件数合計		201	200	199	196	198	196	2,435	
	ヘルパー実働 (時間)	身体介護	156.50	165.50	173.00	151.00	164.00	181.00	1,929.50	
		生活援助	299.71	268.08	284.86	255.33	264.93	278.91	3,574.94	
		予防訪問介護	230.75	217.00	209.25	173.00	186.00	201.75	2,608.00	
		計	686.96	650.58	667.11	579.33	614.93	661.66	8,112.44	
入浴スタッフ稼働回数		29.00	32.00	34.00	30.00	35.00	31.00	298.00		
障害福祉サービス	キャンセル		6	3	6	6	2	1	35	
	指定特定相談支援		10	15	9	6	9	9	97	
	モニタリング		7	7	19	3	11	15	72	
	居宅介護	対象者 (人)	障害者	20	21	20	18	18	19	228
			知的障害者	3	3	3	3	3	3	36
			障害児	1	1	1	1	1	1	12
			計	24	25	24	22	22	23	276
		身体介護 (時間)	障害者	97.00	72.50	121.00	117.00	131.00	151.50	1,506.50
			知的障害者	34.50	30.00	30.00	25.50	25.00	31.50	362.50
			障害児	55.00	52.00	54.00	41.00	46.50	31.50	562.50
			計	186.50	154.50	205.00	183.50	202.50	214.50	2,431.50
		家事援助 (時間)	障害者	115.50	112.00	114.50	99.50	103.00	108.00	1,338.50
			知的障害者	20.00	20.00	20.00	18.00	19.00	18.00	234.00
			障害児	-	-	-	-	-	-	-
			計	135.50	132.00	134.50	117.50	122.00	126.00	1,572.50
	合 計		322.00	286.50	339.50	301.00	324.50	340.50	4,004.00	
	行動支援	対象者 (人)	障害者	-	-	-	-	-	-	-
			知的障害者	1	-	1	-	-	-	6
			障害児	-	1	1	-	-	1	6
			計	1	1	2	-	-	1	12
		時 間	障害者	-	-	-	-	-	-	-
			知的障害者	9.00	-	10.00	-	-	-	58.00
			障害児	-	1.00	1.00	-	-	1.50	5
			計	9.00	1.00	11.00	-	-	1.50	63.00
	同行支援	対象者(人)	視覚障害者	4	3	3	4	4	3	36
		時 間	視覚障害者	23.00	14.50	17.00	17.00	15.50	16.50	214.50
	地域生活支援事業	対象者 (人)	障害者	1	1	1	1	1	1	12
			知的障害者	3	2	2	1	1	1	24
			障害児	7	7	7	7	7	7	84
			計	11	10	10	9	9	9	120
		移動身体あり (時間)	障害者	-	-	-	-	-	-	0.00
			知的障害者	5.00	5.00	5.00	4.00	4.00	5.00	53.00
			障害児	24.50	18.50	18.00	13.00	19.50	15.00	213.50
			計	29.50	23.50	23.00	17.00	23.50	20.00	266.50
		移動身体なし (時間)	障害者	2.00	5.00	2.50	7.50	5.50	2.50	52.50
			知的障害者	5.00	-	-	-	-	-	29.50
			障害児	18.00	22.00	16.50	13.00	16.50	14.00	189.25
			計	25.00	27.00	19.00	20.50	22.00	16.50	271.25
	合 計		54.50	50.50	42.00	37.50	45.50	36.50	537.75	
	入浴事業対象者(人)		1	1	1	1	1	1	14	
	障害者(回)		9	9	9	8	9	9	107	
	計		12	11	11	10	10	10	134	
	障害福祉対象者計		41	40	40	36	36	37	458	
	サービス利用者 計		242	240	239	232	234	233	2,893	
ヘルパー総稼働時間数		1,095.46	1,003.08	1,076.61	934.83	1,000.43	1,056.66	12,931.69		
入浴事業稼働回数		38	41	43	38	44	40	405		

別表2 平成27年度 介護サービス状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
訪問型サービス	対象者(人)	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	2	8
	時間	-	-	-	-	-	-	-	-	8.00	8.00	8.00	9.00	33
	回数	-	-	-	-	-	-	-	-	8	8	8	9	33
	タイムケア	27	21	25	31	13	25	22	13	22	13	19	19	250
施設型サービス	対象者(人)	256.50	186.50	228.00	276.00	126.00	238.00	209.50	136.00	204.50	134.00	164.00	186.00	2,345.00
	時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	回数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	タイムケア	2	1	2	1	-	-	3	3	2	2	3	2	21
学童	対象者(人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	回数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	タイムケア	2	1	2	1	-	-	3	3	2	2	3	2	21
赤ちゃんと赤ちゃんヘルプ	対象者(人)	4.00	1.00	2.00	1.00	-	-	6.00	7.00	4.00	2.91	4.00	2.00	33.91
	時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	回数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	タイムケア	4.00	1.00	2.00	1.00	-	-	6.00	7.00	4.00	2.91	4.00	2.00	33.91
こどもたち	対象者(人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	回数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	タイムケア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
サービス利用者 計	対象者(人)	61	37	5	-	10	5	3	8	13	-	21	26	189
	時間	71.0	44.0	5.0	-	17.0	8.0	3.0	9.0	14.0	-	22.0	34.0	227.0
	回数	61	37	5	-	10	5	3	8	13	-	21	26	189
	タイムケア	3	4	7	4	2	10	4	5	7	10	7	7	70
サービス利用者 計	対象者数	5	4	5	6	2	5	7	6	5	10	8	5	68
	時間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	回数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	タイムケア	95	63	37	38	25	35	35	30	44	27	53	54	536

別表3

 ほっとサポート状況(平成27年4月～平成27年7月)

のべ利用者 219 名 実利用者数 9 名

単価(1時間:1,300円)

内 容	利用時間	単価	回数	時 間	金 額
介護保険制度外支援他	30分	650	7	3.5 H	4,550
〃	1時間	1,300	126	126 H	163,800
〃	1時間 (時間外)	1,500	12	12 H	18,000
〃	1時間30分	1,950	8	12 H	15,600
〃	1時間30分 (時間外)	2,150	19	28.5 H	40,850
〃	2時間	2,600	6	12 H	15,600
〃	2時間 (時間外)	2,800	41	82 H	114,800
合 計			219	276 H	373,200

別表3

ほっとサポート状況(平成27年8月～平成28年3月)

のべ利用者 357 名

実利用者数 5 名

単価(1時間:1,800円)

内 容	利用時間	単価	回数	時 間	金 額
介護保険制度外支援他	30分	900	6	3 H	5,400
〃	1時間	1,800	249	249 H	448,200
〃	1時間 (当日依頼)	2,300	1	1 H	2,300
〃	1時間 (時間外)	2,050	1	1 H	2,050
〃	1時間 (時間外)	2,300	29	29 H	66,700
〃	1時間30分	2,700	17	25.5 H	45,900
〃	1時間30分 (時間外)	3,200	28	42 H	89,600
〃	2時間	3,600	2	4 H	7,200
〃	2時間 (時間外)	4,100	19	38 H	77,900
〃	2時間 (時間外)	4,350	1	2 H	4,350
〃	2時間30分	4,500	1	2.5 H	4,500
〃	2時間30分 (時間外)	5,250	1	2.5 H	5,250
〃	3時間	5,400	2	6 H	10,800
合 計			357	405.5 H	770,150

平成27年度介護サービス研修会開催状況

別表 4

	訪問介護	訪問入浴	居宅介護
4月11日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○2015年度の方針及び事業内容について(担当 松田)	○	○	○ 居宅連絡会
5月9日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○感染症対策について(担当 佐々木)	○	○	○
6月13日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室(事務局合同) ○従業者の接遇(担当 萩尾)	○	○	○ 居宅連絡会
7月11日(土) 9:00～10:30 社協2F多目的室 ○交通安全について(担当 福島)	○	○	○ 居宅連絡会
8月8日(土) 9:00～11:30 社協3F大会議室 ○身体介護技術(担当 幸)	○	○	○
9月12日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○訪問入浴(担当 福島)	○	○	○ 居宅連絡会
10月10・24日(土) ○施設見学(担当 松尾)	○	○	○ 居宅連絡会
11月14日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○生活介護技術(担当 秦主任)	○	○	○
12月12日(土) 9:00～11:30 社協3F大会議室(事務局合同) ○高齢者・障がい者の人権・利用者のプライバシー保護・倫理及び法令遵守(担当 中山)	○	○	○ 居宅連絡会
1月9日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○認知症(担当 鬼塚主任・平田)	○	○	○ 居宅連絡会
2月13日(土) 9:00～12:00 春日・大野城・那珂川消防本部3階(事務局合同) ○救命救急講習(担当 阿相係長・福島係長)	○	○	○
3月12日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○介護保険法・障害者総合支援法改正について(担当 福島係長・井上)	○	○	○ 居宅連絡会

訪問介護・訪問入浴職員全員参加(新任職員も含む)、毎回ヒヤリハット報告・事務連絡あり。
居宅介護については、大野城市居宅介護支援事業者連絡会に原則全員参加し、居宅連絡会がない場合には筑紫地区介護支援専門員連絡協議会の研修に参加する。

平成27年度福祉食事サービス利用状況

月	利用者数	利 用 食 数			1日平均利用者			当 月 利 用 者 世 帯 状 況						未 利 用 者 内 訳					新規
		昼食	夕食	計	昼食	夕食	1日	単身	夫婦	身障者	知障者	精障者	その他	中止	入院	施設	死亡	その他	
4月	79	558	1,666	2,224	19	56	74	61	4	3	1	2	8	2	3	3	0	2	3
5月	73	564	1,620	2,184	18	52	70	55	4	3	1	2	8	2	1	1	0	2	0
6月	75	522	1,508	2,030	17	50	68	58	4	2	1	2	8	3	2	0	0	0	3
7月	76	567	1,595	2,162	18	51	70	60	4	2	1	2	7	1	1	1	1	1	2
8月	76	535	1,554	2,089	17	50	67	61	4	1	1	2	7	1	4	1	0	1	2
9月	76	568	1,415	1,983	19	47	66	59	6	1	1	2	7	3	2	1	0	1	3
10月	77	606	1,494	2,100	20	48	68	60	6	1	1	2	7	4	2	0	0	1	4
11月	77	623	1,409	2,032	21	47	68	60	6	1	1	2	7	5	3	0	0	0	2
12月	79	627	1,479	2,106	20	48	68	61	6	1	1	2	8	2	5	0	0	0	3
1月	78	638	1,425	2,063	21	46	67	60	6	1	1	2	8	0	0	0	0	0	2
2月	79	671	1,414	2,085	23	49	72	62	6	1	1	2	7	3	0	0	1	0	1
3月	79	633	1,460	2,093	20	47	68	62	6	1	1	2	7	3	4	1	0	1	0
合計	924	7,112	18,039	25,151										29	27	8	2	9	25

別表6 職員研修参加等実績

◇ 外部研修

福岡地区地域福祉活動職員連絡会総会	4/10	福岡市健康福祉総合福祉センター ふくとびあ	山内
平成 27 年度市区町村社会福祉協議会会長・事務局長会議	4/30	クローバープラザ	岡会長・小谷
2015 年度福岡県地域福祉活動職員連絡会総会・研修会	5/1	クローバープラザ	栗津
平成 27 年度全国ホームヘルパー協議会協議員セミナー	5/14	全国社会福祉協議会	福島
応急手当普及員再講習	5/17	春日・大野城・那珂川消防本部	栗津
平成 27 年度生活福祉資金事務説明	5/12	クローバープラザ	金丸・田端・多比良・横川
2015 年度社会福祉士実習指導者フォローアップ研修	5/23	クローバープラザ	山内
安全運転管理者講習	5/9	クローバープラザ	小谷
生活支援・介護予防の体制整備に向けた研修会	6/11	電気ビル	馬場・高原
平成 27 年度感染症予防研修(前期)	6/15	大野城まどかびあ	幸
平成 27 年度主任介護支援専門員研修	6/22・7/7・7/14・7/28・ 8/4・8/25・9/9・9/18・ 9/29・10/15・10/23	クローバープラザ	阿相
生活総合機能改善機器(エルダーシステム)体感フェア	6/24	サウンドパーク大野城店	馬場
平成 27 年度第 1 回筑紫地区四市一町防災担当者会議	6/24	那珂川町福祉センター	高原
平成 27 年度日常生活自立支援事業生活支援員研修会	7/7	クローバープラザ	井上・田端
第 6 回赤い羽根全国ミーティング じぶんの町を良くする会議	7/13・7/14	新霞が関ビル	山内・田端
共助社会づくり推進のための市町村モデル指定事業 平成 27 年度第 1 回指定社協連絡会議	7/14	クローバープラザ	馬場
メンタルヘルス対策セミナー	7/15	福岡市民会館	金丸
中学生被災地派遣研修事業(第 1 回事前研修)	7/22	大野城市役所	高原
事業者向けマナー制度説明会	7/24	福岡県吉塚合同庁舎	合原
平成 27 年度キャラバン・メイト養成研修	7/27	クローバープラザ	山内
平成 27 年度福岡県共同基金支会会長・事務局長会議	7/27	クローバープラザ	岡会長・小谷
第 4 回大野城市子ども療育支援センター事業研修会	7/29	大野城まどかびあ	高原・介護 9 名
平成 27 年度市区町村社会福祉協議会会長・常務理事・事務局長研修会	8/3・8/4	ホテルバーレンス小野屋	岡会長・小谷
平成 27 年度会計担当者研修～実践者コース～	8/12	クローバープラザ	金丸
平成 27 年度第 1 回「ホームヘルパー地区研修会」	8/22・8/23・9/6・9/27	大野城市・筑後市・飯塚市・ 戸畑市協	栗・幸・松田・佐々木・福島(正)
応急手当普及員講習	8/24・8/25・8/26	春日・大野城・那珂川消防本部	岡部・土本
平成 27 年度十市一町社会福祉協議会連絡協議会	8/28	朝倉市総合市民センター	
福岡県地域福祉活動職員連絡会 実習生ディスカッション交流会	8/31	志免町総合福祉施設シーメイト	山内・実習生 3 名
平成 27 年度人権相談従事職員研修	9/1・9/8・9/15・10/23	福岡県人権啓発情報センター	田端
平成 27 年度福岡県相談支援従事者初任者研修	9/14・9/15・10/29・ 11/25・11/26	大野城まどかびあ・九州ビル	合原
平成 27 年度精神保健福祉家族講座	9/15	筑紫保健福祉環境事務所	多比良・土本
2015 年度福岡県地域福祉活動職員連絡会 中堅職員向け研修会	9/17	福岡商工会議所	馬場・高原
2015 年度支援者のための成年後見活用講座	10/4	クローバープラザ	井上・田端
平成 27 年度視覚障害関係機関会議	10/5	福岡高等視覚特別支援学校	馬場
平成 27 年度健康保険サポーターゼミナール	10/14	大野城まどかびあ	金丸
筑紫地区介護支援専門員連絡協議会 平成 27 年度第 2 回研修会	10/14	太宰府市生き生き情報センター	阿相・鬼塚・平田・中山
支援者のためのアルコール依存症研修会	10/23・10/30	福岡県筑紫総合庁舎	山内
平成 27 年度ひきこもり支援関係者研修会	10/29	福岡県精神保健福祉センター	高原
防火管理者等再講習	10/30	春日・大野城・那珂川消防本部	小谷
平成 27 年度介護支援専門員のための認知症対応力向上研修会	11/1	福岡県中小企業振興センター	鬼塚・中山
第 2 回生活困窮者自立支援全国研究交流大会	11/7・11/8	福岡大学	金丸
平成 27 年度みんなの力で地域を支え合うフォーラム	11/13	夢サイトかほ	井上・田端
消費生活サポーターフォローアップ研修	11/16	福岡県吉塚合同庁舎	田端
平成 27 年度社協活動実践研修	11/16・11/17・11/18	新霞が関ビル	合原
平成 27 年度福岡県喫煙吸引等研修(第 3 号)	11/24・11/27・12/7	大博多ビル	幸・山口

平成 27 年度社会福祉法人経営者支援事業 「社会福祉法人のためのマイナンバー制度セミナー」	11/25	JR 博多シティ九州ホール	金丸・伊藤
平成 27 年度福岡県強度行動障害支援者養成研修	12/3・12/4・12/10・ 12/11	福岡市立心身障がい福祉センター	佐々木
障害者就業・生活支援センターちくし 第 2 回連絡会議	12/1	クローバープラザ	萩尾・井上
福岡県小児等在宅医療推進事業 相談支援専門員研修(実践編)	12/4	九州大学病院地区総合研修棟	井上
社協広報の役割について考える研修会	12/4	大野城市総合福祉センター	栗津・田端
平成 27 年度筑紫地区在宅医療・介護多職種連携研修会	12/4	筑紫医師会	中山
平成 27 年度社会福祉トップセミナー	128～12/9	全国社会福祉協議会・瀬尾ホール	岡会長
平成 27 年度広報担当者研修	12/16	クローバープラザ	栗津・田端
送迎(福祉)車両安全運転講習会	12/16	福岡県中小企業振興センター	飯星
平成 27 年度すこやかエンゼルサポート事業研修会	12/22	大野城市すこやか交流プラザ	鬼塚・平田・萩尾・秦 太田黒・茅野
福岡県地域医療介護総合確保基金に伴う研修会	1/13・2/10・3/10	福岡商工会議所 久留米ビジネスプラザ 筑紫野文化会館	阿相・中山・平田・鬼塚
平成 27 年度福岡県相談支援従事者現任研修	1/15・1/19・1/20	福岡市市民福祉プラザ 福岡市立心身障がい福祉センター	福島
平成 27 年度社会福祉法人制度に伴う会計・財務セミナー	1/26	九州ビル	合原
平成 27 年度市区町村社会福祉協議会職員研修会	2/5	九州ビル	馬場
平成 27 年度筑紫四市一町社会福祉協議会会長・事務局長連絡協議会	2/15	那珂川町福祉センター	岡会長・小谷・合原・金丸
平成 27 年度みんなが主役の元気な地域づくりセミナー	2/17	国際会議場	栗津
第 18 回全国社協職員のつどい	2/27・2/28	早良市民センター ももち文化センター	小谷・馬場・高原・山内
平成 27 年度市区町村社会福祉協議会 事務局長及び管理職員研修会	3/1	クローバープラザ	小谷・井上
筑紫地区介護支援専門員連絡協議会 平成 27 年度第 3 回研修会	3/16	クローバープラザ	鬼塚・中山・平田

毎月第 2 土曜日 介護サービス定例研修

